

第2章 高齡者一般調査

1 対象者についての基本的事項

(1) 記入者

ア 記入者

表 1-1 記入者 (%)

調査数	宛名のご本人	ご家族	その他	無回答
2667	2496	104	1	65
100.0	93.6	3.9	0.1	2.4

アンケートの回答者は、「宛名のご本人」93.6%に対し、「ご家族」3.9%、「その他」0.1%となっている。

イ 本人が回答できない理由

表 1-2 本人が回答できない理由 (%)

調査数	病院に入院中	(介護保険施設に入所)	病气やけが	物が忘れがあり、意志疎通が時々難しい	が痴ほうのため意志疎通が難しい	障害(身体障害、知的障害など)	別居・転居	答えたくない	その他	無回答
106	17	1	8	26	2	10	1	5	25	11
100.0	15.8	1.2	7.9	24.2	1.8	9.1	0.8	5.2	23.7	10.2

本人が回答できない理由としては、「物が忘れがあり、意志疎通が時々難しい」が24.2%、「病院に入院中」が15.8%となっている。

(2) 年齢別・性別構成

図 1-1 年齢構成

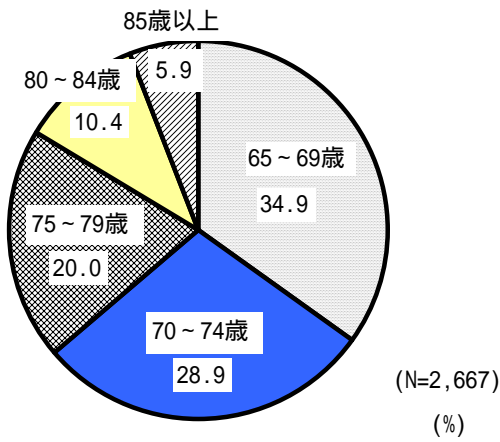
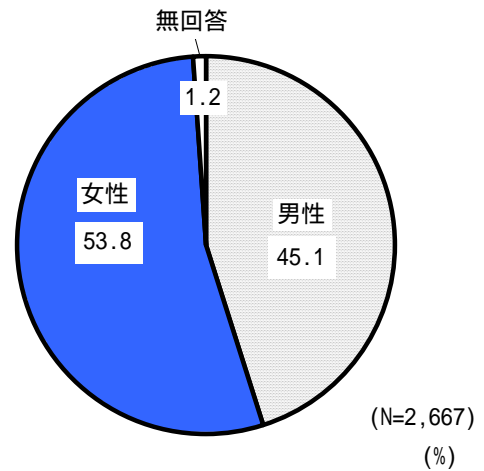


図 1-2 性別構成



調査対象者の年齢構成は、「65～69歳」が34.9%と最も多く、「85歳以上」が5.9%と最も少なくなっている。

性別構成については、男性45.1%、女性53.8%と女性の方が多くなっている。

(3) 居住地域

ア 居住地区

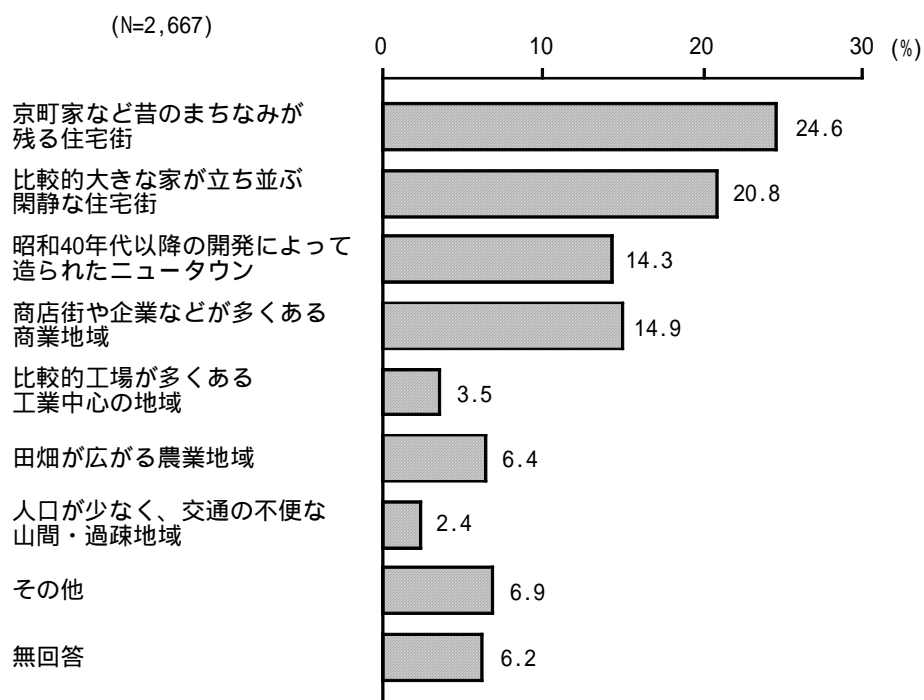
表 1-3 居住地区

調査数	居住地区 (%)														
	北区	上京区	左京区	中京区	東山区	山科区	下京区	南区	右京区(京北町を含む)	西京区	洛西支所	伏見区	深草支所	醍醐支所	無回答
2667 100.0	215 8.1	202 7.6	348 13.1	218 8.2	104 3.9	205 7.7	144 5.4	129 4.8	381 14.3	241 9.0	22 0.8	362 13.6	48 1.8	45 1.7	2 0.1

居住地区をみると、「右京区(京北町を含む)」が14.3%と最も多く、「左京区」「伏見区」も10%を超えている。

イ 地域の特性

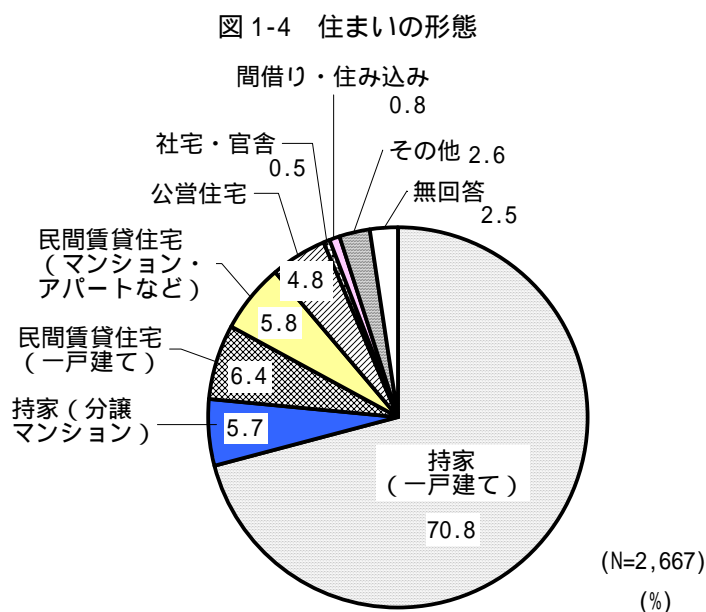
図 1-3 地域の特性



地域の特性については、「京町家など昔のまちなみが残る住宅街」が 24.6%と最も多く、次いで「比較的大きな家が立ち並ぶ閑静な住宅街」(20.8%)、「商店街や企業などが多くある商業地域」(14.9%)、「昭和40年代以降の開発によって造られたニュータウン」(14.3%)の順となっている。

(4) 住居形態

ア 住まいの形態



住まいの形態をみると、「持家(一戸建て)」が70.8%と圧倒的に多く、そのほかは「民間賃貸住宅(一戸建て)」が6.4%、「民間賃貸住宅(マンション・アパートなど)」が5.8%などとなっている。

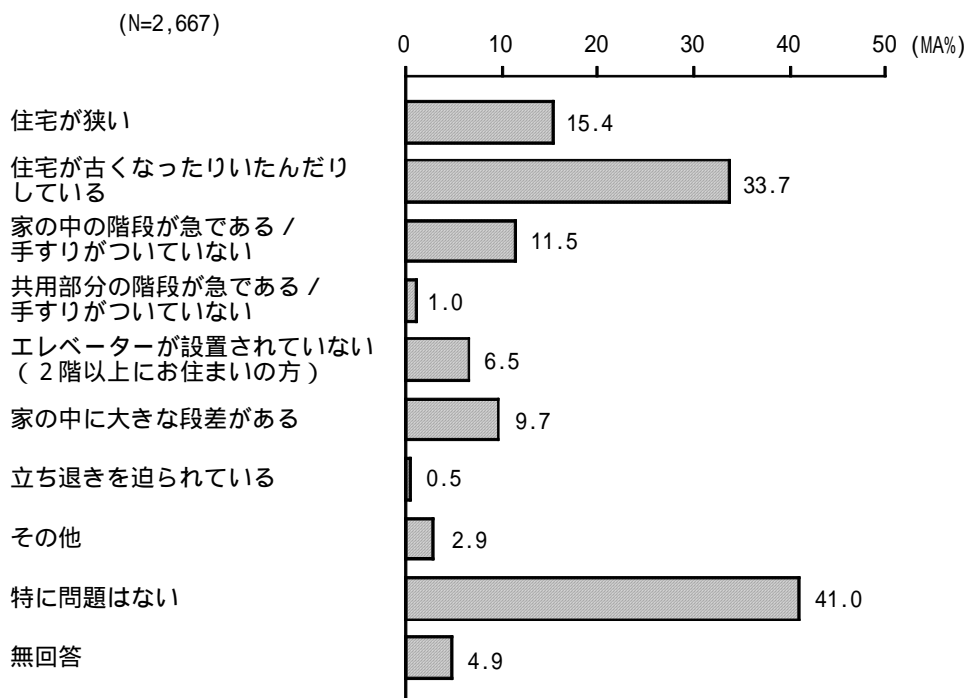
表 1-4 居住地区別 住まいの形態

	調査数(N)	(%)								
		持家(一戸建て)	持家(分譲マンション)	民間賃貸住宅(一戸建て)	民間賃貸住宅(マンション・アパートなど)	公営住宅	社宅・官舎	間借り・住み込み	その他	無回答
北区	215	80.2	2.3	8.8	5.0	0.1	0.1	-	0.8	2.5
上京区	202	66.4	7.2	9.9	6.8	0.9	0.5	1.2	2.3	4.9
左京区	348	75.4	3.0	5.7	4.4	2.7	0.8	0.4	4.1	3.5
中京区	218	66.5	10.0	8.7	6.0	3.5	-	-	2.0	3.4
東山区	104	72.0	1.6	6.8	10.9	1.0	1.8	1.4	2.2	2.3
山科区	205	62.7	6.8	6.4	12.7	7.9	-	2.2	0.7	0.6
下京区	144	66.2	5.8	10.8	7.3	1.6	-	0.9	4.3	3.1
南区	129	73.6	8.5	5.6	1.9	3.2	2.9	1.5	2.6	0.2
右京区(京北町を含む)	381	75.3	5.3	6.4	5.1	1.1	0.4	2.1	2.6	1.7
西京区	241	76.9	3.1	1.7	5.4	7.7	-	0.6	2.7	1.9
洛西支所	22	70.6	6.0	-	1.4	13.4	-	-	8.6	-
伏見区	362	65.5	8.9	5.1	5.4	9.3	0.5	0.1	2.6	2.5
深草支所	48	71.7	5.5	6.1	-	12.5	-	-	2.1	2.1
醍醐支所	45	42.3	4.0	-	-	45.2	-	-	2.2	6.4
無回答	2	38.0	62.0	-	-	-	-	-	-	-
合計	2667	70.8	5.7	6.4	5.8	4.8	0.5	0.8	2.6	2.5

居住地区別にみると、「持家(一戸建て)」の割合は、北区で80.2%と最も高く、次いで西京区、左京区、右京区(京北町を含む)などで高くなっている。「民間賃貸住宅(一戸建て)」は下京区、上京区、「民間賃貸住宅(マンション・アパートなど)」については山科区、東山区で10%前後みられる。また、醍醐支所では「公営住宅」が45.2%を占めている。

イ 住まいの状況

図 1-5 住まいの状況



住まいの状況については、「住宅が古くなったりいたんだりしている」が 33.7%と最も多く、次いで「住宅が狭い」(15.4%)、「家の中の階段が急である / 手すりがついていない」(11.5%)となっている。

表 1-5 住まいの形態別 住まいの状況

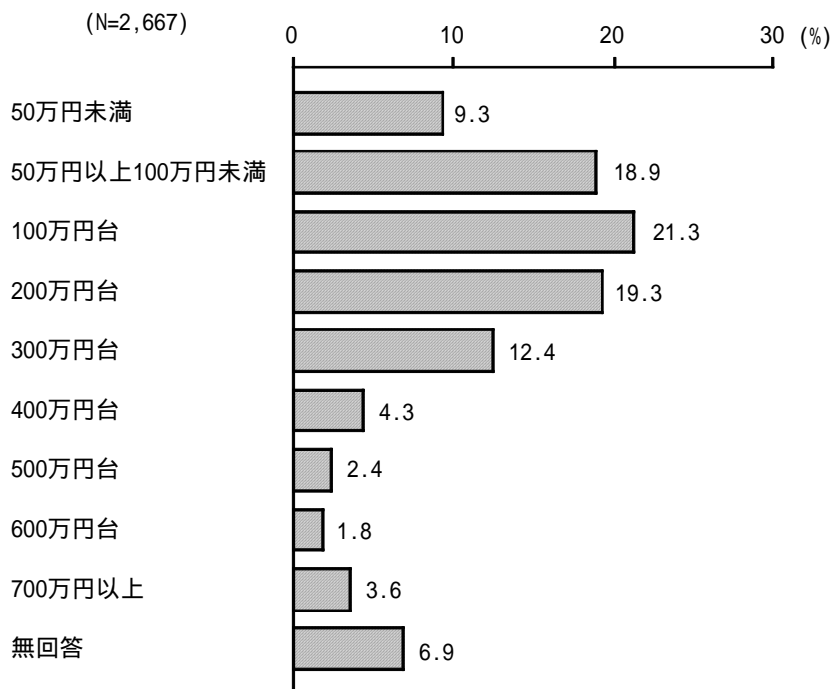
	調査数 (N)	住宅が狭い	住宅が古くなったりいたんだりしている	家の中の階段が急である / 手すりがついていない	共用部分の階段が急である / 手すりがついていない	エレベーターが設置されていない (2階以上にお住まいの方)	家の中に大きな段差がある	立ち退きを迫られている	その他	特に問題はない	無回答
持家 (一戸建て)	1887	13.8	33.1	12.8	0.5	5.6	10.8	0.3	2.8	44.1	2.3
持家 (分譲マンション)	153	13.4	18.6	3.3	0.9	3.8	2.7	-	1.2	62.9	1.5
民間賃貸住宅 (一戸建て)	171	21.6	68.8	21.4	0.6	3.0	15.9	0.8	1.7	16.4	5.1
民間賃貸住宅 (マンション・アパートなど)	156	29.3	31.7	5.0	5.2	6.6	4.7	0.5	4.3	35.3	4.2
公営住宅	129	18.6	29.6	1.0	5.8	29.9	3.2	1.5	6.4	29.1	6.6
社宅・官舎	13	2.4	16.0	27.8	-	27.7	21.6	-	-	52.5	-
間借り・住み込み	22	12.8	23.1	12.8	2.2	4.4	2.2	14.3	-	49.7	4.4
その他	68	22.9	42.0	10.6	0.5	2.6	12.1	-	7.1	34.2	4.6
無回答	67	7.9	6.2	-	-	-	-	1.5	-	4.1	86.0
合計	2667	15.4	33.7	11.5	1.0	6.5	9.7	0.5	2.9	41.0	4.9

住まいの形態別にみると、民間賃貸住宅 (一戸建て) では、「住宅が古くなったりいたんだりしている」が 68.8%と最も高く、このほか、「家の中の階段が急である / 手すりがついていない」「家の中に大きな段差がある」などの割合も相対的に高くなっている。民間賃貸住宅 (マンション・アパートなど) では、「住宅が狭い」(29.3%) が他の住宅形態と比べて高い。また、公営住宅及び社宅・官舎では、「エレベーターが設置されていない (2階以上にお住まいの方)」が 30%近くみられる。

(5) 収入

ア 本人の年収

図 1-6 本人の年収

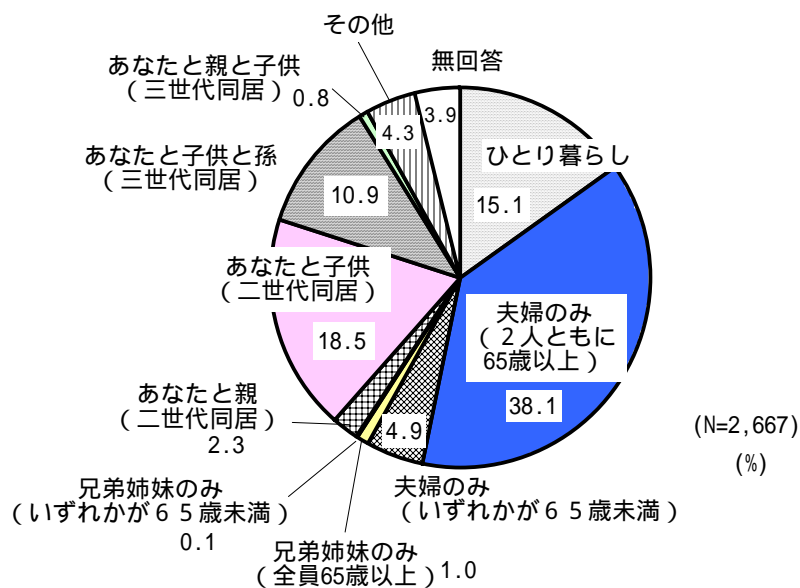


調査対象者本人の年収は、「100万円台」が21.3%と最も多く、次いで「200万円台」が19.3%となっている。

(6) 世帯の状況

ア 世帯構成

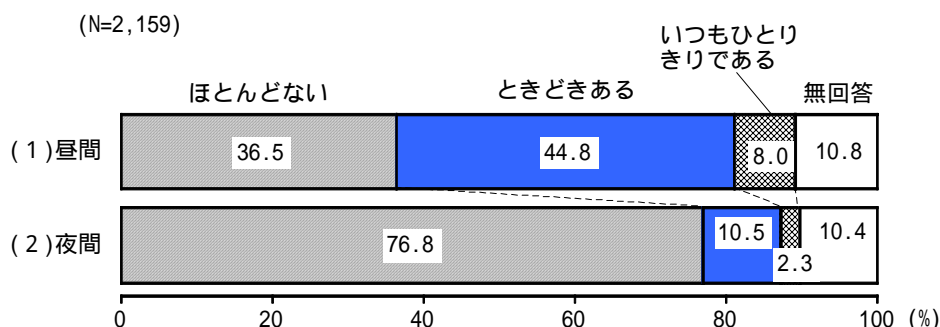
図 1-7 世帯構成



世帯構成は「夫婦のみ (2人とも65歳以上)」が38.1%と最も多く、次いで「あなたと子供 (二世帯同居)」(18.5%)、「ひとり暮らし」(15.1%)、「あなたと子供と孫 (三世帯同居)」(10.9%)となっている。

イ 昼間独居等の状況

図 1-8 昼間独居等の状況



家族と同居している高齢者のうち、昼間、ひとりきりになることがある人は52.8%を占め、「いつもひとりきりである」は8.0%となっている。

同様に、夜間、ひとりきりになることがある人は12.8%であり、「いつもひとりきりである」は2.3%となっている。

表 1-6 性・年齢別 家族介護力

(%)

	調査数 (N)	ひとり暮らし	夫婦のみの世帯	と本人と兄弟姉妹/本人	ながら、子ども・孫と同居だが、昼間・夜間ひとりきりになることがある	子ども・孫と同居だが、昼間ひとりきりになる	無回答
男性 (全体)	1202	7.8	55.4	3.5	14.9	12.3	6.1
65～69歳	438	9.5	53.4	6.5	13.4	12.1	5.2
70～74歳	357	4.8	57.8	2.6	16.3	10.4	8.1
75～79歳	241	7.8	60.2	0.8	13.1	13.9	4.1
80～84歳	106	10.2	50.2	1.9	17.7	14.0	6.0
85歳以上	59	8.6	45.9	0.5	20.0	16.2	8.6
女性 (全体)	1434	21.2	32.9	3.1	22.5	13.3	7.0
65～69歳	491	16.2	42.3	3.1	21.5	10.8	6.2
70～74歳	393	20.9	34.0	3.4	18.2	15.2	8.4
75～79歳	287	23.8	34.1	3.1	22.1	12.4	4.5
80～84歳	167	31.9	16.5	3.5	25.7	14.5	8.0
85歳以上	95	22.3	4.7	1.3	40.7	19.7	11.3
無回答	31	20.2	34.1	8.5	21.8	8.0	7.4
合計	2667	15.1	43.1	3.3	19.0	12.8	6.6

男性全体と女性全体を比べると、「夫婦のみの世帯」の割合は男性の方が女性よりも高く、「ひとり暮らし」及び「子ども・孫と同居だが、昼間ひとりきりになることがある」の割合は女性の方が男性よりも高くなっている。

性・年齢別にみると、男性では80歳代前半まで「夫婦のみの世帯」が半数を超え、85歳以上でも45.9%を占めるのに対し、女性では総じて割合が低く、80歳以上では「ひとり暮らし」の割合が「夫婦のみの世帯」を上回っている。一方、「子ども・孫と同居だが、昼間ひとりきりになることがある」人の割合は、男性の85歳以上、及び女性の75歳以上で高く、特に女性の85歳以上では約40%を占めている。

表 1-7 居住地区別 家族介護力

(%)

	調査数 (N)	ひとり暮らし	夫婦のみの世帯	と本人と兄弟姉妹/本人	なるが子ども・孫と同居だが、昼間ひとりきりになることがある	こども・孫と同居だが、昼間ひとりきりになる	無回答
北区	215	9.8	43.3	3.5	17.3	13.9	12.2
上京区	202	15.9	42.9	3.7	15.1	11.8	10.5
左京区	348	17.0	36.8	3.7	22.4	12.9	7.2
中京区	218	16.9	43.1	4.1	13.2	15.5	7.2
東山区	104	22.5	44.2	3.6	15.2	7.1	7.6
山科区	205	22.6	48.0	1.8	14.3	10.4	2.9
下京区	144	18.9	36.1	6.2	22.0	13.5	3.3
南区	129	14.0	40.7	2.2	21.7	16.5	5.0
右京区(京北町を含む)	381	13.1	45.6	2.9	20.8	11.9	5.7
西京区	241	12.6	47.2	2.3	19.7	14.3	4.0
洛西支所	22	23.9	68.7	-	1.4	5.9	-
伏見区	362	13.0	39.5	3.0	24.8	13.1	6.6
深草支所	48	9.5	51.2	3.9	14.1	14.4	6.9
醍醐支所	45	6.4	59.8	7.1	12.3	6.2	8.2
無回答	2	-	23.1	-	14.9	62.0	-
合計	2667	15.1	43.1	3.3	19.0	12.8	6.6

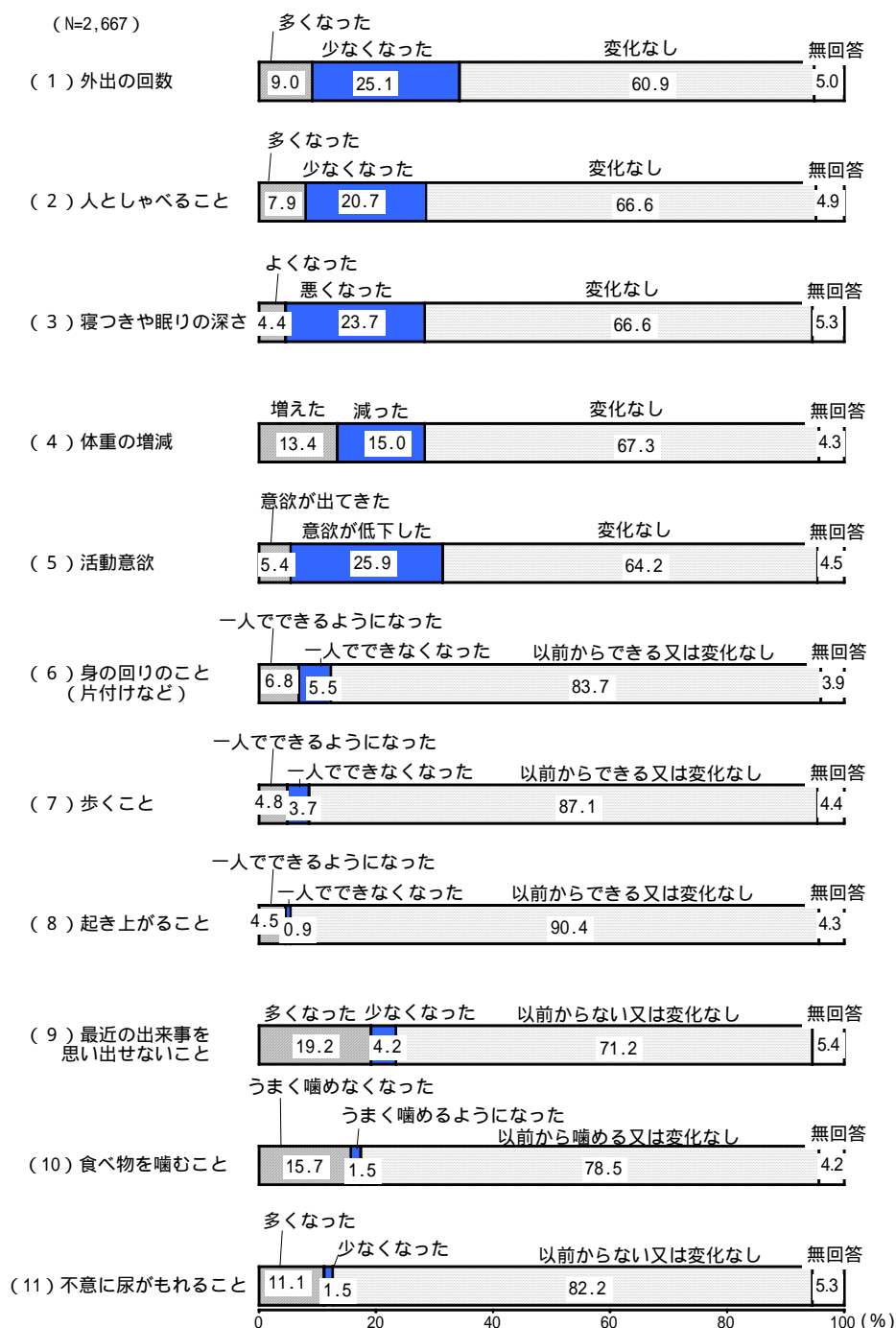
居住地区別にみると、「夫婦のみの世帯」の割合は洛西支所で 68.7%と最も高く、醍醐支所及び深草支所でも 50%台となっている。「ひとり暮らし」の割合は、洛西支所、山科区、東山区で 20%強となっている。一方、「子ども・孫と同居だが、昼間ひとりきりになることがある」人の割合は、伏見区で 24.8%と最も高く、左京区、下京区などでも 20%を超えている。

2 身体・生活の状況について

(1) 最近半年間の心身の変化

ア 最近半年間の心身の変化

図 1-9 最近半年間の心身の変化



この半年間に心身の状態に変化が見られたかたずねたところ、いずれの項目でも「変化なし」が過半数を占めているが、『(1) 外出の回数』をはじめとして、『(5) 活動意欲』『(2) 人としゃべること』『(3) 寝つきや眠りの深さ』の各項目では、悪化もしくは低下を表す回答が20%を超えている。

表 1-8 性・年齢別 最近半年間の心身の変化

(1) 外出の回数

	調査数 (N)	多くなった	少なくなった	変化なし	無回答
男性(全体)	1202	7.5	23.3	64.6	4.7
65~69歳	438	5.6	17.2	73.3	3.9
70~74歳	357	8.9	23.0	62.6	5.6
75~79歳	241	11.1	24.6	58.6	5.7
80~84歳	106	6.0	37.7	53.5	2.8
85歳以上	59	0.5	38.4	56.2	4.9
女性(全体)	1434	10.3	27.0	57.6	5.0
65~69歳	491	13.1	20.0	63.5	3.5
70~74歳	393	12.8	23.6	58.2	5.4
75~79歳	287	6.9	33.8	53.8	5.5
80~84歳	167	5.6	31.9	56.0	6.5
85歳以上	95	4.0	49.0	39.3	7.7
無回答	31	12.8	10.0	66.1	11.1
合計	2667	9.0	25.1	60.9	5.0

(2) 人としゃべること

	多くなった	少なくなった	変化なし	無回答
男性(全体)	6.3	21.9	67.3	4.5
65~69歳	5.2	18.1	72.0	4.7
70~74歳	8.5	21.5	65.9	4.1
75~79歳	8.2	22.5	64.3	4.9
80~84歳	1.9	30.2	64.2	3.7
85歳以上	0.5	35.7	57.8	5.9
女性(全体)	9.2	19.6	66.1	5.1
65~69歳	12.3	14.2	70.0	3.5
70~74歳	10.8	19.9	63.6	5.7
75~79歳	6.9	21.7	66.6	4.8
80~84歳	3.2	23.9	65.8	7.1
85歳以上	4.0	32.7	55.3	8.0
無回答	10.1	22.3	59.7	7.9
合計	7.9	20.7	66.6	4.9

(3) 寝つきや眠りの深さ

	よくなった	悪くなった	変化なし	無回答
男性(全体)	4.9	23.6	67.0	4.5
65~69歳	4.7	24.6	67.2	3.4
70~74歳	6.3	23.0	64.8	5.9
75~79歳	4.5	26.6	64.8	4.1
80~84歳	4.2	17.7	73.5	4.7
85歳以上	1.1	18.4	76.2	4.3
女性(全体)	4.0	24.0	66.1	5.8
65~69歳	3.8	26.9	64.6	4.6
70~74歳	4.0	22.9	66.0	7.1
75~79歳	3.8	24.1	66.6	5.5
80~84歳	4.7	20.4	68.7	6.2
85歳以上	4.7	19.3	68.7	7.3
無回答	4.3	16.5	69.7	9.5
合計	4.4	23.7	66.6	5.3

(4) 体重の増減

	調査数 (N)	増えた	減った	変化なし	無回答
男性(全体)	1202	12.5	14.2	69.1	4.2
65~69歳	438	14.7	9.1	71.6	4.7
70~74歳	357	13.3	13.3	69.3	4.1
75~79歳	241	10.7	19.7	65.6	4.1
80~84歳	106	9.3	21.4	66.0	3.3
85歳以上	59	4.9	22.7	69.7	2.7
女性(全体)	1434	14.5	15.7	65.6	4.2
65~69歳	491	18.1	7.7	70.4	3.8
70~74歳	393	18.5	16.8	60.3	4.4
75~79歳	287	10.3	20.3	64.8	4.5
80~84歳	167	8.0	22.7	64.9	4.4
85歳以上	95	3.3	26.0	66.3	4.3
無回答	31	1.6	10.6	75.6	12.2
合計	2667	13.4	15.0	67.3	4.3

(5) 活動意欲

	意欲が出てきた	意欲が低下した	変化なし	無回答
男性(全体)	4.4	26.2	65.0	4.4
65~69歳	5.2	21.6	69.0	4.3
70~74歳	4.4	26.3	65.2	4.1
75~79歳	4.1	29.9	61.5	4.5
80~84歳	3.3	32.1	59.5	5.1
85歳以上	2.2	34.1	59.5	4.3
女性(全体)	6.1	25.9	63.5	4.5
65~69歳	10.0	20.4	66.5	3.1
70~74歳	6.1	23.2	66.0	4.7
75~79歳	2.8	31.4	61.0	4.8
80~84歳	2.4	31.3	59.9	6.5
85歳以上	3.3	39.0	51.0	6.7
無回答	8.5	19.7	63.9	7.9
合計	5.4	25.9	64.2	4.5

(6) 身の回りのこと (片付けなど)

	一人ですることができるようになった	一人ですることができなくなった	以前からできる又は以前からできないようになった	無回答
男性(全体)	8.7	6.1	81.4	3.8
65~69歳	6.5	5.6	84.1	3.9
70~74歳	8.5	4.4	83.3	3.7
75~79歳	10.7	6.1	79.5	3.7
80~84歳	11.6	8.8	74.9	4.7
85歳以上	13.5	14.6	68.6	3.2
女性(全体)	5.3	5.2	85.7	3.9
65~69歳	2.3	2.3	92.3	3.1
70~74歳	6.7	3.0	85.5	4.7
75~79歳	6.9	6.9	82.4	3.8
80~84歳	7.4	6.5	81.7	4.4
85歳以上	5.7	21.3	68.7	4.3
無回答	5.8	-	87.3	6.9
合計	6.8	5.5	83.7	3.9

(7) 歩くこと

	調査数 (N)	一人ですることができるようになった	一人ですることができなくなった	以前からできる又は以前からできないようになった	無回答
男性(全体)	1202	5.5	3.3	87.0	4.2
65~69歳	438	3.0	1.7	90.5	4.7
70~74歳	357	5.6	2.6	88.1	3.7
75~79歳	241	7.0	4.5	84.4	4.1
80~84歳	106	9.3	6.0	80.9	3.7
85歳以上	59	10.8	8.6	76.2	4.3
女性(全体)	1434	4.2	4.1	87.2	4.5
65~69歳	491	3.1	1.9	91.5	3.5
70~74歳	393	4.4	2.7	87.9	5.1
75~79歳	287	4.8	5.2	85.5	4.5
80~84歳	167	5.9	5.6	83.2	5.3
85歳以上	95	4.0	14.7	74.7	6.7
無回答	31	10.0	4.3	78.8	6.9
合計	2667	4.8	3.7	87.1	4.4

(8) 起き上がること

	一人ですることができるようになった	一人ですることができなくなった	以前からできる又は以前からできないようになった	無回答
男性(全体)	4.9	0.7	90.1	4.3
65~69歳	2.2	0.4	93.1	4.3
70~74歳	3.7	0.4	91.1	4.8
75~79歳	7.4	0.4	88.5	3.7
80~84歳	10.7	2.3	83.3	3.7
85歳以上	13.0	2.2	80.5	4.3
女性(全体)	4.1	1.0	90.6	4.3
65~69歳	2.3	0.4	94.6	2.7
70~74歳	3.7	0.7	89.9	5.7
75~79歳	5.5	1.4	88.3	4.8
80~84歳	6.5	1.5	87.0	5.0
85歳以上	6.0	4.0	86.3	3.7
無回答	3.6	-	88.4	7.9
合計	4.5	0.9	90.4	4.3

(9) 最近の出来事を思い出せないこと

	多くなった	少なくなった	変化なし	以前からない又は以前からあった	無回答
男性(全体)	19.7	4.6	70.7	5.0	
65~69歳	14.7	4.3	76.7	4.3	
70~74歳	21.9	3.7	69.3	5.2	
75~79歳	22.5	4.9	66.4	6.1	
80~84歳	21.4	7.0	67.4	4.2	
85歳以上	29.7	5.9	58.9	5.4	
女性(全体)	18.7	4.0	71.7	5.7	
65~69歳	15.0	1.2	80.0	3.8	
70~74歳	18.2	4.4	70.7	6.7	
75~79歳	20.7	5.2	67.6	6.6	
80~84歳	19.8	6.5	67.6	6.2	
85歳以上	31.3	8.7	53.0	7.0	
無回答	22.3	4.8	62.9	10.1	
合計	19.2	4.2	71.2	5.4	

(10) 食べ物を噛むこと

(11) 不意に尿がもれること

	調査数 (N)	変化なし				変化あり			
		なまか なまか なまか	なまか なまか なまか	は以前 から 噛める 又	無 回 答	多 く な っ た	少 な く な っ た	変 化 な し 以 前 か ら な い 又 は	無 回 答
男性(全体)	1202	18.1	2.1	75.8	4.1	11.9	1.0	81.8	5.3
65~69歳	438	15.5	1.3	78.9	4.3	8.2	1.7	84.9	5.2
70~74歳	357	18.9	1.9	74.8	4.4	11.9	-	83.0	5.2
75~79歳	241	18.9	3.7	73.8	3.7	14.3	1.2	79.1	5.3
80~84歳	106	20.5	1.9	74.4	3.3	17.2	0.9	76.7	5.1
85歳以上	59	24.3	2.7	70.3	2.7	20.0	1.1	72.4	6.5
女性(全体)	1434	13.7	1.0	81.0	4.3	10.5	2.0	82.3	5.2
65~69歳	491	9.2	0.4	87.3	3.1	6.2	0.8	89.2	3.8
70~74歳	393	12.5	0.3	82.2	5.1	9.4	2.4	82.5	5.7
75~79歳	287	16.6	2.4	75.5	5.5	13.4	2.8	77.6	6.2
80~84歳	167	18.0	2.1	76.1	3.8	13.6	3.5	77.3	5.6
85歳以上	95	25.7	1.0	68.3	5.0	23.3	1.7	69.0	6.0
無回答	31	20.7	-	71.4	7.9	3.6	-	87.9	8.5
合計	2667	15.7	1.5	78.5	4.2	11.1	1.5	82.2	5.3

男性全体と女性全体との比較では、大きな傾向の違いがみられない。

性・年齢別にみると、男女とも後期高齢者で全体的に悪化傾向が強くみられる。悪化した人の割合をみると、「外出の機会」及び「活動意欲」については、男性の80歳以上、女性の75歳以上で30%を超え、「人としゃべること」については、男性の80歳以上、女性の85歳以上で30%を超えている。また、「最近の出来事を思い出せないこと」については、男女とも85歳以上で約30%となっている。

表 1-9 転倒の有無別 最近半年間の心身の変化

(1) 外出の回数

(2) 人としゃべること

(3) 寝つきや眠りの深さ

	調査数 (N)	変化なし				変化あり			
		多 く な っ た	少 な く な っ た	変 化 な し	無 回 答	多 く な っ た	少 な く な っ た	変 化 な し	無 回 答
ある	366	8.2	37.5	49.1	5.2	6.8	29.0	58.6	5.6
ない	2189	9.0	23.2	63.7	4.1	7.9	19.1	68.8	4.2
該当しない(寝たきり等のため)	11	-	21.9	59.5	18.6	-	70.4	29.6	-
無回答	102	14.3	22.3	43.1	20.3	12.8	21.1	49.8	16.4
合計	2667	9.0	25.1	60.9	5.0	7.9	20.7	66.6	4.9

(4) 体重の増減

(5) 活動意欲

(6) 身の回りのこと
(片付けなど)

	調査数 (N)	変化なし				変化あり			
		増 え た	減 っ た	変 化 な し	無 回 答	意 欲 が 出 て き た	意 欲 が 低 下 し た	変 化 な し	無 回 答
ある	366	15.8	20.9	58.5	4.7	6.4	35.9	52.7	5.0
ない	2189	13.3	13.5	69.5	3.7	5.4	23.9	66.9	3.9
該当しない(寝たきり等のため)	11	12.6	51.6	35.8	-	-	59.5	40.5	-
無回答	102	9.0	21.0	54.7	15.3	2.3	31.4	49.9	16.4
合計	2667	13.4	15.0	67.3	4.3	5.4	25.9	64.2	4.5

(7) 歩くこと

	調査数 (N)	一人です なりました	一人です できなくな った	以前から 変化なし である	無 回 答
ある	366	6.8	8.8	78.6	5.8
ない	2189	4.4	2.6	89.4	3.7
該当しない(寝たきり等のため)	11	-	45.2	54.8	-
無回答	102	8.3	5.2	71.1	15.5
合計	2667	4.8	3.7	87.1	4.4

(8) 起き上がること

	一人です なりました	一人です できなくな った	以前から 変化なし である	無 回 答
	7.4	1.4	85.4	5.7
	4.0	0.7	91.7	3.6
	-	15.6	84.4	-
	4.0	1.3	80.3	14.4
	4.5	0.9	90.4	4.3

(9) 最近の出来事を思い出せないこと

	多くな った	少くな った	以前から 変化なし である	無 回 答
	30.5	5.5	58.2	5.8
	17.0	3.9	74.0	5.0
	28.0	12.6	59.5	-
	23.6	6.0	57.9	12.5
	19.2	4.2	71.2	5.4

(10) 食べ物を嘔むこと

	調査数 (N)	うま く嘔め なくな った	うま く嘔め るよう にな った	以前から 変化なし である	無 回 答
ある	366	26.4	0.7	67.9	5.0
ない	2189	13.8	1.6	81.0	3.7
該当しない(寝たきり等のため)	11	42.2	-	57.8	-
無回答	102	17.2	2.6	66.0	14.2
合計	2667	15.7	1.5	78.5	4.2

(11) 不意に尿がもれること

	多くな った	少くな った	以前から 変化なし である	無 回 答
	18.5	2.2	71.6	7.8
	9.7	1.3	84.7	4.4
	42.2	12.6	45.2	-
	11.0	3.9	69.9	15.1
	11.1	1.5	82.2	5.3

最近1年間の転倒経験の有無別にみると、転倒経験のある人は転倒経験のない人と比べていずれの項目についても悪化傾向が強くみられる。特に、「外出の回数」「活動意欲」については、転倒経験のある人の約36~38%が悪化しており、「寝つきや眠りの深さ」「最近の出来事を思い出せないこと」「人としゃべること」の3項目についても30%前後と高い。

表 1-10 近所付き合いの程度別 最近半年間の心身の変化

(1) 外出の回数

	調査数 (N)	多くな った	少くな った	変化 なし	無 回 答
困った時に助け合う	412	11.6	20.3	64.1	4.0
世間話や立ち話をする程度	1003	10.3	22.7	63.4	3.6
顔を合わせばあいさつする程度	1092	6.8	29.4	59.4	4.4
付き合いをしていない	77	5.1	29.6	51.9	13.5
無回答	83	14.2	18.6	41.8	25.4
合計	2667	9.0	25.1	60.9	5.0

(2) 人としゃべること

	多くな った	少くな った	変化 なし	無 回 答
	14.0	10.4	71.0	4.6
	9.7	17.1	69.4	3.8
	3.8	27.2	64.8	4.2
	3.4	32.8	55.0	8.8
	14.1	17.7	44.3	23.9
	7.9	20.7	66.6	4.9

(3) 寝つきや眠りの深さ

	よくな った	悪くな った	変化 なし	無 回 答
	5.5	22.2	66.9	5.4
	4.7	22.3	68.9	4.1
	3.6	25.5	65.9	5.0
	4.5	29.8	60.6	5.1
	7.5	18.8	50.5	23.2
	4.4	23.7	66.6	5.3

【高齢者一般調査】

(4) 体重の増減

	調査数 (N)	増えた	減った	変化なし	無回答
困った時に助け合う	412	13.4	13.2	70.1	3.4
世間話や立ち話をする程度	1003	13.1	13.3	69.6	4.0
顔を合わせばあいさつする程度	1092	13.7	17.0	65.5	3.7
付き合いをしていない	77	16.0	13.9	66.7	3.4
無回答	83	11.4	17.8	49.8	21.0
合計	2667	13.4	15.0	67.3	4.3

(5) 活動意欲

	意欲が出てきた	意欲が低下した	変化なし	無回答
困った時に助け合う	8.4	19.9	67.6	4.1
世間話や立ち話をする程度	6.6	21.5	67.7	4.2
顔を合わせばあいさつする程度	3.6	31.1	61.7	3.6
付き合いをしていない	0.8	40.4	53.0	5.8
無回答	3.0	27.9	48.7	20.4
合計	5.4	25.9	64.2	4.5

(6) 身の回りのこと

(%)				
	一人ですることができるようになった	一人ですることができるなくなった	以前からできる又は変化なし	無回答
困った時に助け合う	9.3	1.3	85.7	3.7
世間話や立ち話をする程度	4.9	3.9	87.8	3.4
顔を合わせばあいさつする程度	7.9	6.8	82.0	3.2
付き合いをしていない	1.0	31.7	63.2	4.1
無回答	8.7	4.7	66.7	19.8
合計	6.8	5.5	83.7	3.9

(7) 歩くこと

	調査数 (N)	一人ですることができるようになった	一人ですることができるなくなった	以前からできる又は変化なし	無回答
困った時に助け合う	412	4.9	1.1	90.3	3.7
世間話や立ち話をする程度	1003	4.0	2.9	89.4	3.7
顔を合わせばあいさつする程度	1092	5.4	3.9	86.5	4.2
付き合いをしていない	77	2.3	26.3	66.9	4.5
無回答	83	8.8	3.8	68.6	18.8
合計	2667	4.8	3.7	87.1	4.4

(8) 起き上がること

	一人ですることができるようになった	一人ですることができるなくなった	以前からできる又は変化なし	無回答
困った時に助け合う	4.5	0.4	91.4	3.8
世間話や立ち話をする程度	3.7	0.5	92.3	3.5
顔を合わせばあいさつする程度	5.1	0.8	89.9	4.2
付き合いをしていない	5.5	8.2	82.2	4.1
無回答	4.0	1.2	75.4	19.4
合計	4.5	0.9	90.4	4.3

(9) 最近の出来事を思い出せないこと

(%)				
	多くなった	少なくなった	以前からない又は変化なし	無回答
困った時に助け合う	19.2	2.3	73.7	4.9
世間話や立ち話をする程度	14.2	3.3	77.6	5.0
顔を合わせばあいさつする程度	22.7	5.3	66.9	5.1
付き合いをしていない	26.8	10.0	58.5	4.7
無回答	25.5	6.7	49.4	18.4
合計	19.2	4.2	71.2	5.4

(10) 食べ物を嘔むこと

	調査数 (N)	うまくなつた	うまくなつた	以前から嘔める又は変化なし	無回答
困った時に助け合う	412	11.4	1.9	83.1	3.6
世間話や立ち話をする程度	1003	12.3	1.2	82.8	3.8
顔を合わせばあいさつする程度	1092	19.5	1.6	75.0	3.9
付き合いをしていない	77	26.5	0.4	69.1	4.1
無回答	83	19.6	2.4	60.8	17.2
合計	2667	15.7	1.5	78.5	4.2

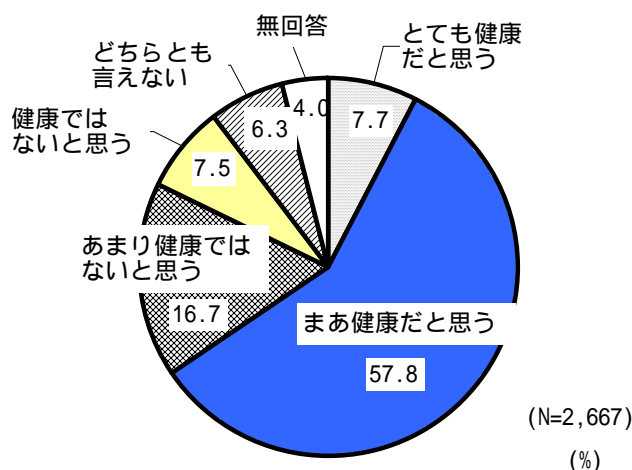
(11) 不意に尿がもれること

(%)				
	多くなった	少なくなった	以前からない又は変化なし	無回答
困った時に助け合う	6.5	2.1	86.3	5.1
世間話や立ち話をする程度	9.8	1.2	84.8	4.2
顔を合わせばあいさつする程度	12.6	1.2	80.9	5.3
付き合いをしていない	27.6	4.1	61.9	6.4
無回答	13.6	3.9	65.4	17.2
合計	11.1	1.5	82.2	5.3

近所づきあいの程度別にみると、近所付き合いの希薄な人ほど、「活動意欲」「人としてしゃべること」「外出の回数」などについて悪化傾向が強くみられる。

イ 日ごろの健康状態

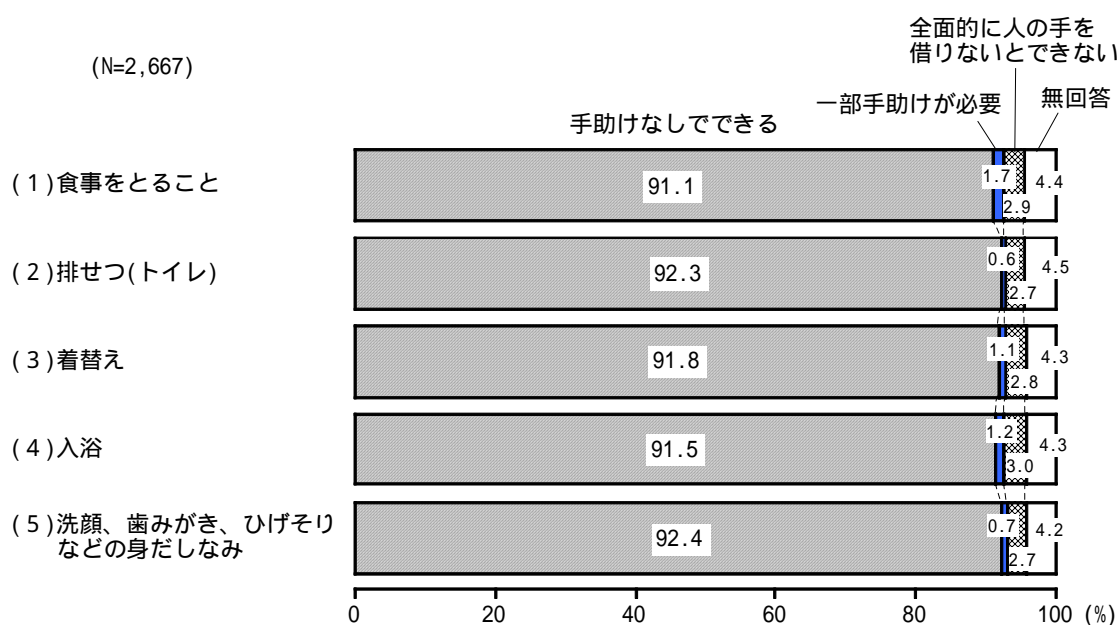
図 1-10 日ごろの健康状態



日ごろの健康状態については、『健康だと思わない(計)』(「健康だと思わない」に「健康ではないと思う」を加えた割合)が 65.5%を占め、『健康だと思わない(計)』(「健康ではないと思う」に「あまり健康ではないと思う」を加えた割合)は 24.2%となっている。

(2) 日常生活動作 (基本的 A D L)

図 1-11 日常生活動作 (基本的 A D L)



基本的な日常基本動作についてみると、いずれの項目でも「手助けなしでできる」が 90%以上を占めている。「全面的に人の手を借りないとできない」または「一部手助けが必要」は『(1) 食事をとること』で 4.6%となっている。

表 1-11 性・年齢別 日常生活動作(基本的ADL)

(1) 食事をとること

	調査数(N)	手助けなしでできる	一部手助けが必要	全面的に人の手を借りないといけない	無回答
男性(全体)	1202	91.3	2.0	2.9	3.8
65～69歳	438	90.1	1.7	4.3	3.9
70～74歳	357	93.7	1.9	2.2	2.2
75～79歳	241	91.8	0.8	2.0	5.3
80～84歳	106	91.2	3.7	1.4	3.7
85歳以上	59	83.8	7.0	3.2	5.9
女性(全体)	1434	91.0	1.4	2.8	4.8
65～69歳	491	93.5	-	3.1	3.5
70～74歳	393	92.9	-	1.7	5.4
75～79歳	287	88.3	2.4	2.8	6.6
80～84歳	167	87.9	2.9	4.4	4.7
85歳以上	95	83.7	8.3	3.3	4.7
無回答	31	90.4	-	4.3	5.3
合計	2667	91.1	1.7	2.9	4.4

(2) 排せつ(トイレ)

	調査数(N)	手助けなしでできる	一部手助けが必要	全面的に人の手を借りないといけない	無回答
男性(全体)	1202	92.4	0.8	2.7	4.1
65～69歳	438	90.5	0.9	4.3	4.3
70～74歳	357	94.8	-	2.2	3.0
75～79歳	241	92.2	0.8	1.6	5.3
80～84歳	106	93.0	1.9	0.9	4.2
85歳以上	59	91.4	3.2	1.6	3.8
女性(全体)	1434	92.3	0.4	2.6	4.7
65～69歳	491	93.8	-	2.7	3.5
70～74歳	393	93.3	-	1.7	5.1
75～79歳	287	89.7	0.7	3.1	6.6
80～84歳	167	91.2	0.6	3.8	4.4
85歳以上	95	90.0	2.3	2.7	5.0
無回答	31	87.8	-	4.3	7.9
合計	2667	92.3	0.6	2.7	4.5

(3) 着替え

	調査数(N)	手助けなしでできる	一部手助けが必要	全面的に人の手を借りないといけない	無回答
男性(全体)	1202	91.4	1.7	3.0	3.9
65～69歳	438	89.2	2.6	4.3	3.9
70～74歳	357	93.7	0.7	2.6	3.0
75～79歳	241	92.2	0.4	2.0	5.3
80～84歳	106	91.6	3.3	0.9	4.2
85歳以上	59	89.7	3.8	3.2	3.2
女性(全体)	1434	92.2	0.6	2.6	4.7
65～69歳	491	93.8	-	2.7	3.5
70～74歳	393	92.6	0.3	1.7	5.4
75～79歳	287	89.7	1.4	2.8	6.2
80～84歳	167	91.4	0.3	4.1	4.1
85歳以上	95	90.7	3.0	2.0	4.3
無回答	31	86.2	3.2	4.3	6.3
合計	2667	91.8	1.1	2.8	4.3

(4) 入浴

	調査数(N)	手助けなしでできる	一部手助けが必要	全面的に人の手を借りないといけない	無回答
男性(全体)	1202	91.7	1.2	3.3	3.8
65～69歳	438	89.7	1.3	5.2	3.9
70～74歳	357	94.1	0.7	2.6	2.6
75～79歳	241	91.4	1.2	2.0	5.3
80～84歳	106	93.0	1.9	0.9	4.2
85歳以上	59	91.4	2.2	3.2	3.2
女性(全体)	1434	91.4	1.2	2.8	4.7
65～69歳	491	93.8	-	2.7	3.5
70～74歳	393	92.6	0.7	1.7	5.1
75～79歳	287	89.0	1.4	3.4	6.2
80～84歳	167	89.7	1.5	4.1	4.7
85歳以上	95	84.0	8.3	3.0	4.7
無回答	31	85.1	4.3	4.3	6.3
合計	2667	91.5	1.2	3.0	4.3

(5) 洗顔、歯みがき、ひげそりなどの身だしなみ

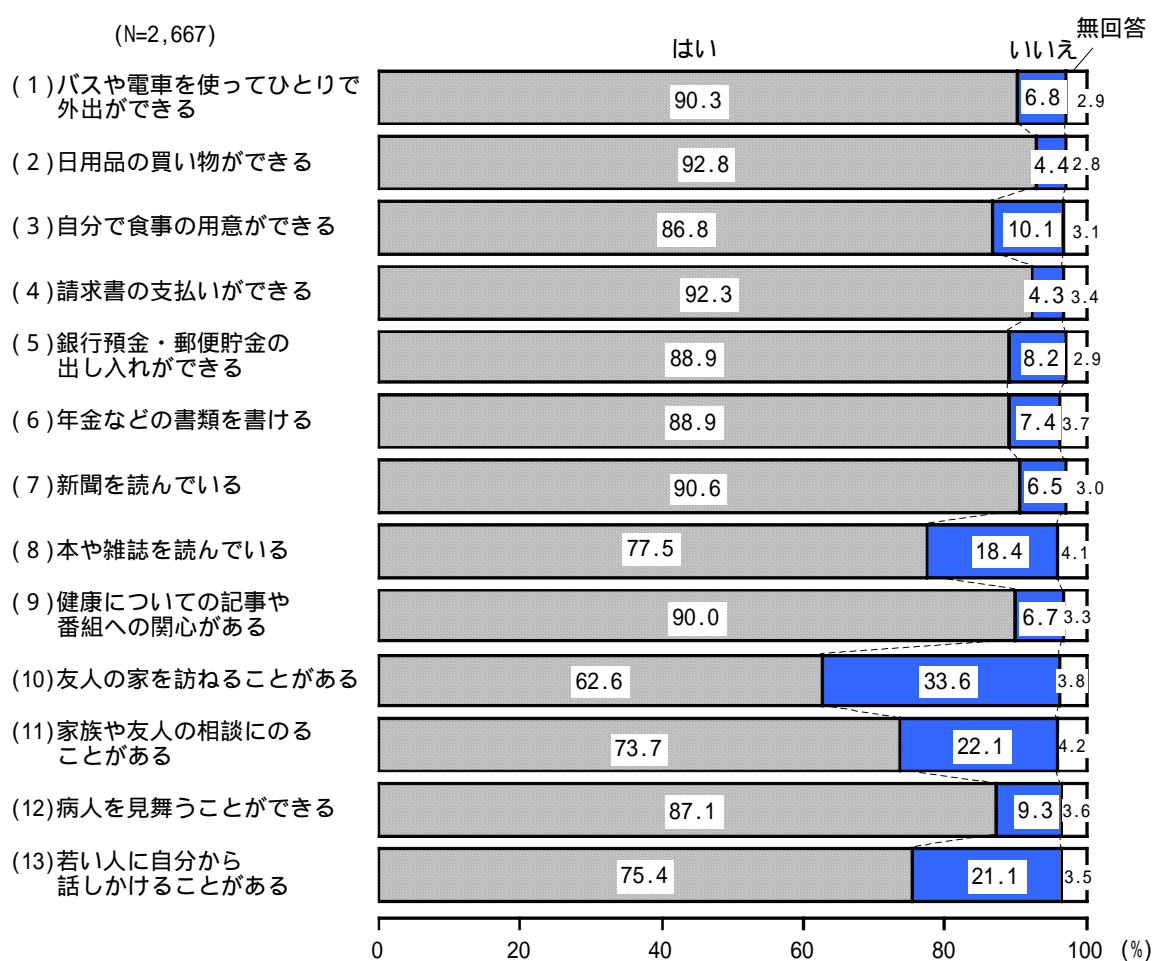
	調査数(N)	手助けなしでできる	一部手助けが必要	全面的に人の手を借りないといけない	無回答
男性(全体)	1202	92.6	0.8	2.9	3.7
65～69歳	438	90.5	0.9	4.7	3.9
70～74歳	357	95.2	0.4	2.2	2.2
75～79歳	241	93.0	0.4	1.6	4.9
80～84歳	106	93.0	1.4	0.9	4.7
85歳以上	59	90.8	3.8	1.6	3.8
女性(全体)	1434	92.3	0.6	2.5	4.6
65～69歳	491	93.8	-	2.7	3.5
70～74歳	393	93.6	-	1.7	4.7
75～79歳	287	89.3	1.4	2.8	6.6
80～84歳	167	90.6	1.5	3.5	4.4
85歳以上	95	91.3	1.7	2.0	5.0
無回答	31	89.4	-	4.3	6.3
合計	2667	92.4	0.7	2.7	4.2

男性全体と女性全体との比較では、大きな傾向の違いがみられない。

性・年齢別にみると、「食事をとること」については男女とも85歳以上で、「入浴」については女性の85歳以上で、「一部手助けが必要」の割合が約7～8%みられる。

(3) 老研式活動能力指標（高次ADL）

図 1-12 老研式活動能力指標（高次ADL）



高次の日常生活動作をみると、老研式活動能力指標の13項目中9項目について「はい」が80%以上を占めるが、『(10) 友人の家を訪ねることがある』(62.6%)、『(11) 家族や友人の相談にのることがある』(73.7%) などでは、やや割合が低くなっている。

老研式活動能力指標総合点の平均は11.2点となっている。

表 1-12 性・年齢別 老研式活動能力指標（高次ADL）

	調査数 (N)	(%)					平均
		3点以下	4 } 6点	7 } 9点	10点以上	無回答	
男性(全体)	1202	1.8	3.8	11.8	79.8	2.8	11.2
65～69歳	438	2.2	4.3	8.2	81.9	3.4	11.3
70～74歳	357	0.7	2.2	13.3	82.2	1.5	11.4
75～79歳	241	0.8	3.3	10.7	81.1	4.1	11.3
80～84歳	106	2.8	5.6	20.0	69.8	1.9	10.5
85歳以上	59	7.6	9.2	20.0	61.6	1.6	9.6
女性(全体)	1434	2.6	3.8	9.5	82.4	1.8	11.3
65～69歳	491	-	1.5	6.2	91.2	1.2	12.0
70～74歳	393	1.0	2.7	8.4	86.5	1.3	11.6
75～79歳	287	4.1	2.4	11.7	79.0	2.8	11.1
80～84歳	167	4.4	7.4	12.1	73.5	2.7	10.6
85歳以上	95	14.0	17.3	20.3	45.7	2.7	8.3
無回答	31	4.3	3.1	19.7	72.0	1.0	10.6
合計	2667	2.2	3.8	10.7	81.1	2.2	11.2

老研式活動能力指標総合点の男女別の平均は、男性全体 11.2 点、女性全体 11.3 点と、大きな差がみられない。

性・年齢別に分布をみると、男性では 70 歳代まで「10 点以上」が 80% 強、85 歳以上でも 60% を超えているのに対し、女性は 85 歳以上で 45.7% と、男性を大きく下回っている。総合点の平均は、男女とも 80～84 歳で 10 点台、85 歳以上では男性 9.6 点、女性 8.3 点となっている。

表 1-13 転倒の有無別 老研式活動能力指標(高次ADL)

	調査数 (N)	(%)					平均
		3点以下	4 } 6点	7 } 9点	10点以上	無回答	
ある	366	4.1	4.3	18.7	70.1	2.7	10.5
ない	2189	1.6	3.4	9.3	83.7	1.9	11.4
該当しない(寝たきり等のため)	11	53.0	17.2	12.6	17.2	-	4.0
無回答	102	3.9	7.8	10.4	69.7	8.1	10.5
合計	2667	2.2	3.8	10.7	81.1	2.2	11.2

最近 1 年間の転倒経験の有無別に分布をみると、「10 点以上」の割合は、転倒経験のない人 83.7% に対し、転倒経験のある人では 70.1% と低くなっている。総合点の平均は、転倒経験のない人 11.4 点、転倒経験のある人 10.5 点となっている。

表 1-14 近所付き合いの程度別 老研式活動能力指標（高次ADL）
（％）

	調査数 (N)	0 } 3 点	4 } 6 点	7 } 9 点	10 点以上	無回答	平均
困った時に助け合う	412	0.4	1.2	2.2	94.6	1.5	12.2
世間話や立ち話をする程度	1003	0.4	1.6	8.8	87.2	2.0	11.8
顔を合わせばあいさつする程度	1092	2.5	5.6	15.3	74.5	2.1	10.7
付き合いをしていない	77	29.7	15.7	14.2	38.7	1.7	6.9
無回答	83	3.9	8.6	10.8	66.7	9.9	10.5
合計	2667	2.2	3.8	10.7	81.1	2.2	11.2

近所づきあいの程度別に分布をみると、「10点以上」の割合は、隣近所と親しく付き合っている人ほど高く、「困った時に助け合う」と回答した人では94.6%となっている。総合点の平均は、「付き合いをしていない」人のみ、10点を下回っている。

表 1-15 心身の変化への対応・改善の有無別 老研式活動能力指標（高次ADL）

	調査数 (N)	0 } 3 点	4 } 6 点	7 } 9 点	10 点以上	無回答	平均
日ごろからよく気をつけて、改善に取り組んでいる	941	1.0	1.8	6.6	88.6	2.1	11.9
気をつけてはいるが、適切に対応できているかわからない	1068	1.6	4.7	12.8	79.5	1.4	11.1
あまり気をつけていない	450	3.8	4.7	12.3	75.8	3.4	10.7
まったく気をつけていない	79	8.3	5.1	16.9	67.8	1.9	10.1
無回答	129	7.1	7.0	13.4	65.7	6.9	10.1
合計	2667	2.2	3.8	10.7	81.1	2.2	11.2

心身の変化への対応・改善の有無別に分布をみると、「10点以上」の割合は、対応・改善意識の高い人ほど高く、「日ごろからよく気をつけて、改善に取り組んでいる」と回答した人では88.6%となっている。総合点の平均は、「日ごろからよく気をつけて、改善に取り組んでいる」人と「まったく気をつけていない」人で1.8点の開きがある。

表 1-16 老化予防・介護予防に関する知識の有無別 老研式活動能力指標(高次ADL)

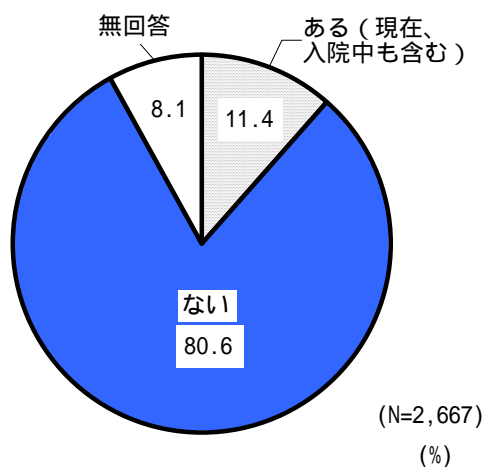
	調査数 (N)	(%)					平均
		0 ～ 3 点	4 ～ 6 点	7 ～ 9 点	1 0 点 以上	無 回 答	
よく知っている	696	1.5	2.2	6.4	87.9	1.9	11.9
ある程度は知っている	1354	1.2	2.5	9.4	85.0	1.9	11.5
聞いたことはある	411	4.3	7.2	19.2	67.0	2.3	10.1
まったく知らない	83	11.8	14.8	19.5	50.1	3.7	8.5
無回答	123	4.3	8.1	14.6	67.2	5.8	10.4
合計	2667	2.2	3.8	10.7	81.1	2.2	11.2

老化予防・介護予防に関する知識の有無別に分布をみると、「10点以上」の割合は、介護予防等についてよく理解している人ほど高く、「よく知っている」と回答した人では87.9%となっている。総合点の平均は、「よく知っている」人と「まったく知らない」人で3.4点の開きがある。

(4) 入院経験と現在治療を受けている病気

ア この1年間に入院した経験

図 1-13 この1年間に入院した経験



この1年間に入院したことがある人は、現在入院中の人も含め 11.4%となっている。

イ 現在治療を受けている病気

表 1-17 現在治療を受けている病気

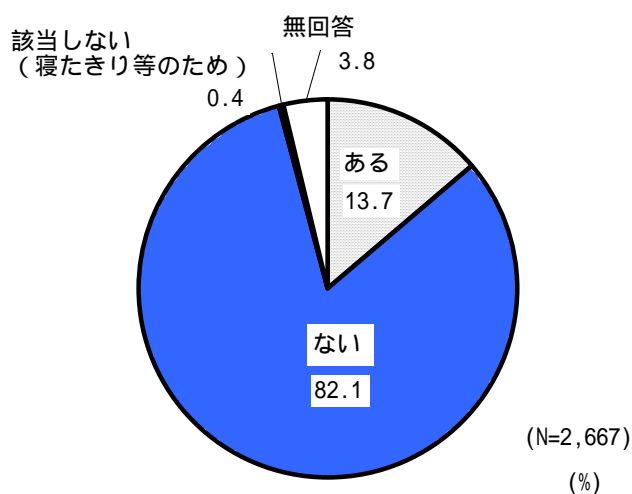
		(MA%)																		
調査数		高血圧症	高脂血症	心臓病(心筋梗塞、狭心症など)	脳血管疾患(脳梗塞、脳出血など)	呼吸器系疾患(喘息、肺炎など)	結核	消化器系疾患	泌尿器系疾患	腎臓病	肝臓病	糖尿病	腰痛、膝痛などの病気	眼の病気	耳、鼻の病気	精神疾患	歯の病気	その他	特にない	無回答
2667	100.0	852	247	345	99	123	6	280	160	46	80	265	702	567	182	41	502	208	426	179
		31.9	9.3	13.0	3.7	4.6	0.2	10.5	6.0	1.7	3.0	9.9	26.3	21.3	6.8	1.6	18.8	7.8	16.0	6.7

現在治療を受けている病気としては、「高血圧症」が 31.9%と最も多く、次いで「腰痛、膝痛などの病気」(26.3%)、「眼の病気」(21.3%)、「歯の病気」(18.8%)の順となっている。

(5) 転倒経験

ア この1年間に転倒してケガをした経験

図 1-14 この1年間に転倒してケガをした経験



この1年間に転倒してケガをしたことがある人は、13.7%となっている。

表 1-18 性・年齢別 この1年間に転倒してケガをした経験

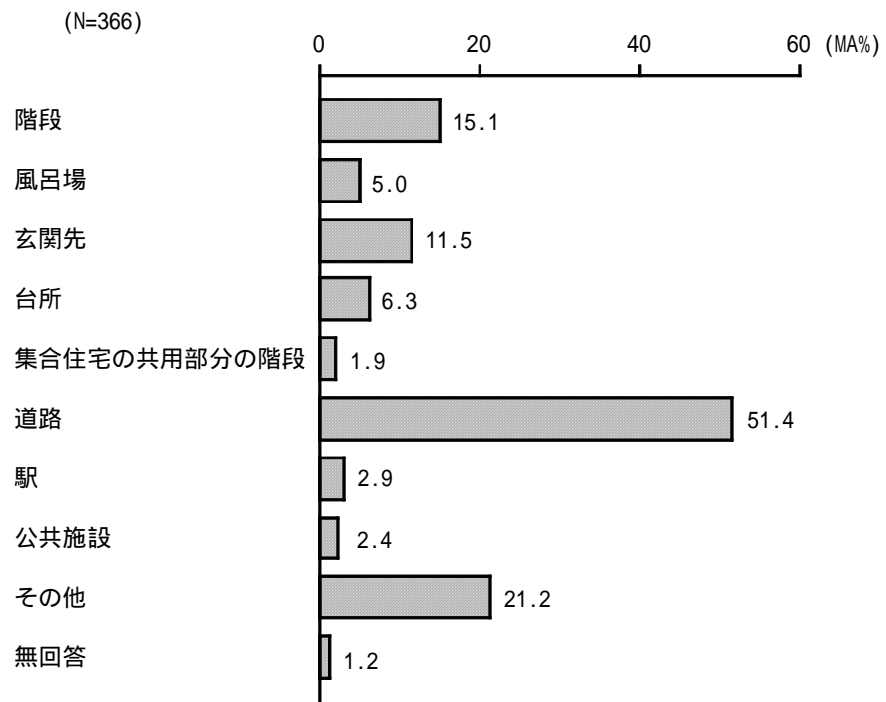
	調査数 (N)	(%)			
		ある	ない	き該当しない等のため (寝た)	無回答
男性 (全体)	1202	11.3	84.5	0.3	3.9
65～69歳	438	6.0	90.9	-	3.0
70～74歳	357	9.3	85.2	0.7	4.8
75～79歳	241	19.7	75.8	0.4	4.1
80～84歳	106	15.8	80.5	0.5	3.3
85歳以上	59	20.0	75.7	-	4.3
女性 (全体)	1434	15.7	80.1	0.4	3.8
65～69歳	491	11.5	86.5	-	1.9
70～74歳	393	15.2	79.8	1.0	4.0
75～79歳	287	18.3	75.5	0.3	5.9
80～84歳	167	22.4	72.9	0.3	4.4
85歳以上	95	19.3	74.7	1.0	5.0
無回答	31	18.1	77.7	-	4.3
合計	2667	13.7	82.1	0.4	3.8

男性全体と女性全体を比べると、転倒経験のある人の割合は、男性 11.3%に対し、女性 15.7%となっている。

性・年齢別にみると、転倒経験のある人の割合は男女とも後期高齢者で高く、男性の80～84歳を除き20%前後となっている。

イ 転倒した場所

図 1-15 転倒した場所

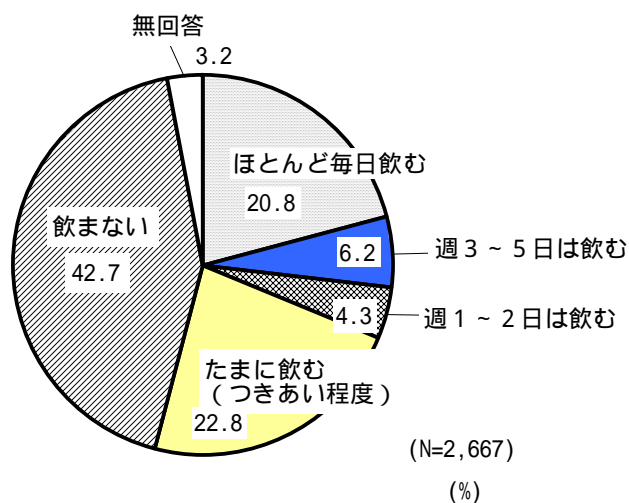


転倒した場所としては、「道路」が 51.4%と圧倒的に多く、「階段」「玄関先」もそれぞれ 10%を超えている。

(6) 飲酒・喫煙の習慣

ア 飲酒の状況

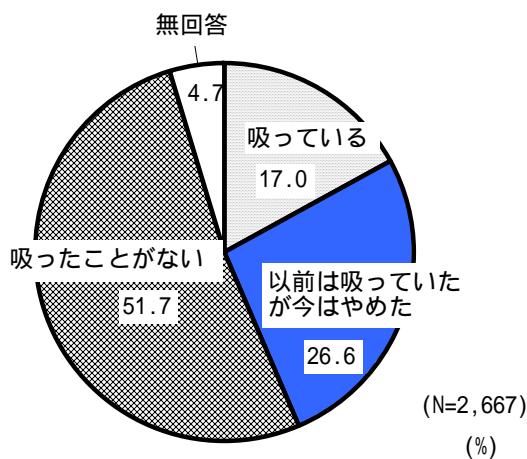
図 1-16 飲酒の状況



週1回以上の飲酒習慣のある人は31.3%であり、「ほとんど毎日飲む」が20.8%となっている。

イ 喫煙の状況

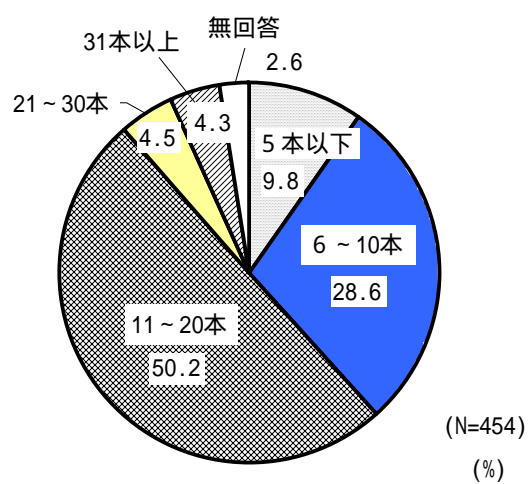
図 1-17 喫煙の状況



現在、喫煙の習慣のある人は全体の17.0%であり、「以前吸っていたが今はやめた」(26.6%)を含めると40%強となる。

ウ 1日の喫煙本数

図 1-18 1日の喫煙本数

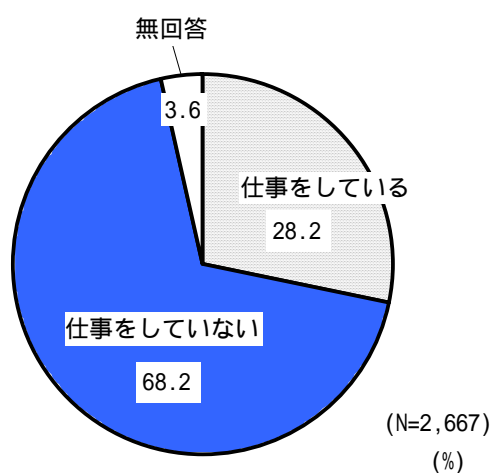


1日の喫煙本数を見ると、「11~20本」が50.2%と最も多く、次いで「6~10本」が28.6%となっている。

(7) 就労状況

ア 就労の有無

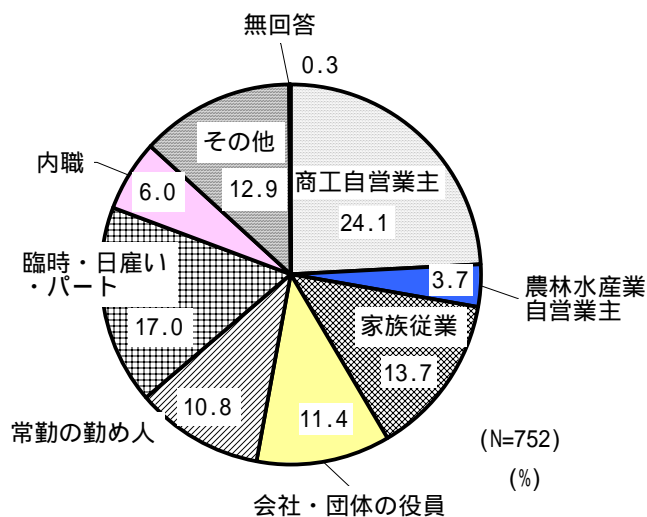
図 1-19 就労の有無



現在、就労している人は 28.2%，就労していない人は 68.2%となっている。

イ 就労形態

図 1-20 就労形態

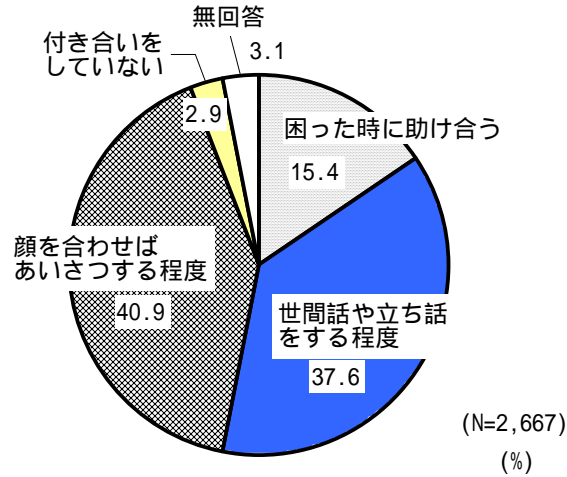


就労している場合の形態は、「商工自営業主」が 24.1%と最も多く、次いで「臨時・日雇い・パート」(17.0%)、「家族従業」(13.7%)、「会社・団体の役員」(11.4%)の順となっている。

(8) 近所付き合いと社会参加・生きがい活動の状況

ア 近所付き合いの程度

図 1-21 近所付き合いの程度



近所付き合いの程度をみると、「顔を合わせばあいさつする程度」が 40.9%と最も多く、次いで「世間話や立ち話をする程度」(37.6%)、「困った時に助け合う」(15.4%)となっている。

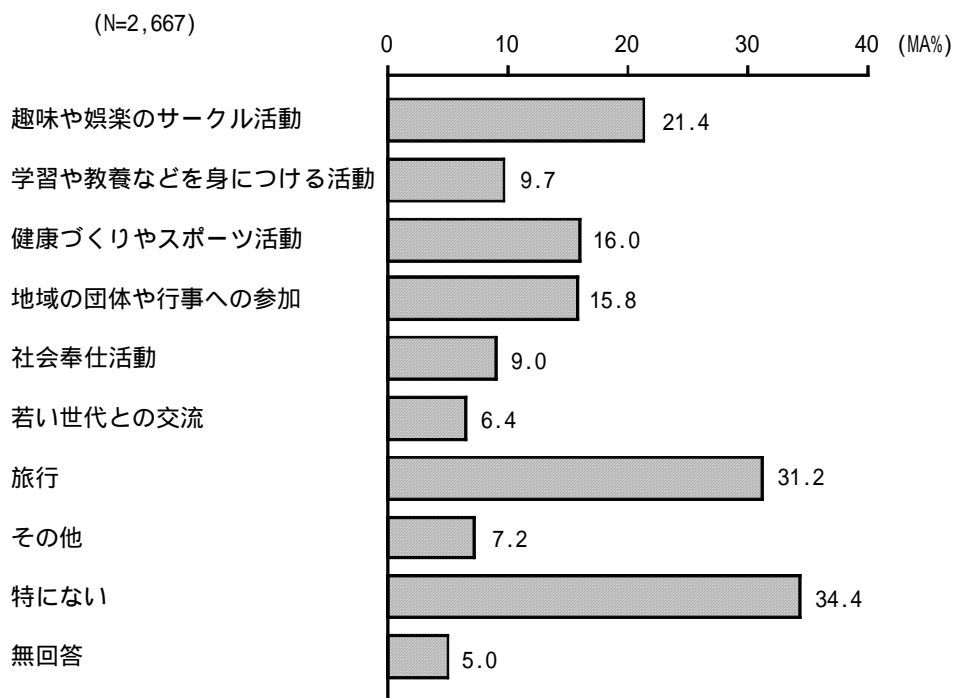
表 1-19 世帯構成別 近所付き合いの程度

	調査数 (N)	困った時に助け合う (%)	世間話や立ち話をする (%)	顔を合わせばあいさつする (%)	付き合いをしていない (%)	無回答 (%)
ひとり暮らし	404	18.0	32.7	40.7	5.5	3.2
夫婦のみ (2人ともに65歳以上)	1017	14.5	38.9	41.2	2.3	3.1
夫婦のみ (いずれかが65歳未満)	132	12.2	30.2	55.6	1.0	1.0
兄弟姉妹のみ (全員65歳以上)	26	28.2	31.9	31.8	8.1	-
兄弟姉妹のみ (いずれかが65歳未満)	2	-	40.0	60.0	-	-
あなたと親 (二世帯同居)	60	15.3	31.2	45.1	5.3	3.0
あなたと子供 (二世帯同居)	494	17.4	37.6	38.8	2.8	3.4
あなたと子供と孫 (三世帯同居)	290	14.7	41.7	38.7	2.6	2.2
あなたと親と子供 (三世帯同居)	21	26.5	30.8	42.7	-	-
その他	116	9.5	51.1	34.6	2.7	2.1
無回答	104	12.9	33.7	42.9	0.8	9.8
合計	2667	15.4	37.6	40.9	2.9	3.1

世帯構成別にみると、夫婦のみの世帯 (いずれかが65歳未満) では、「顔を合わせばあいさつする程度」が 55.6%と、他の世帯と比べて高くなっている。また、ひとり暮らし世帯では、「付き合いをしていない」が 5.5%みられる。

イ 生きがい活動への参加状況

図 1-22 生きがい活動への参加状況

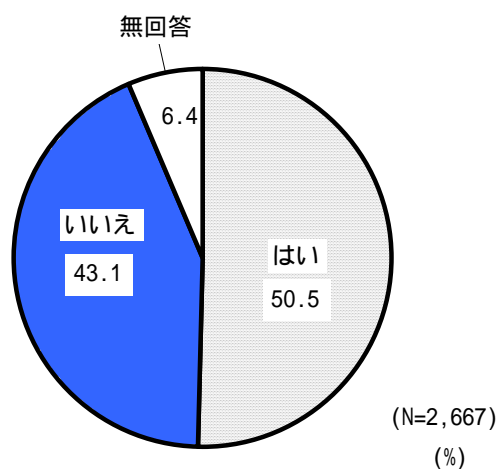


現在参加している生きがい活動は、「特にない」が34.4%と最も多く、次いで「旅行」(31.2%)、「趣味や娯楽のサークル活動」(21.4%)、「健康づくりやスポーツ活動」(16.0%)、「地域の団体や行事への参加」(15.8%)などとなっている。

(9) 運動やスポーツの状況

ア 運動やスポーツの有無

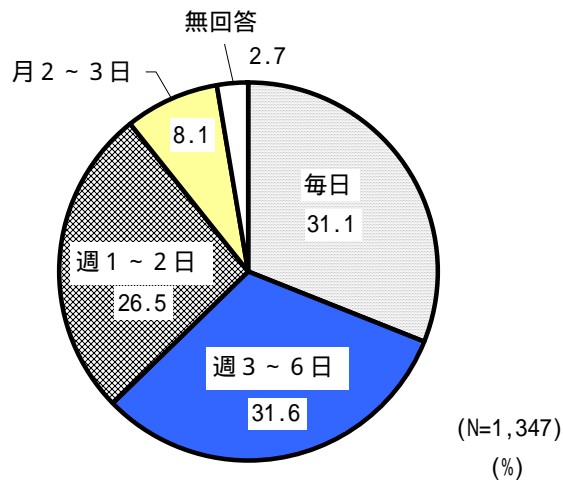
図 1-23 運動やスポーツの有無



日ごろから意識して運動やスポーツをしている人は、全体の50.5%となっている。

イ 運動やスポーツを行う頻度

図 1-24 運動やスポーツを行う頻度

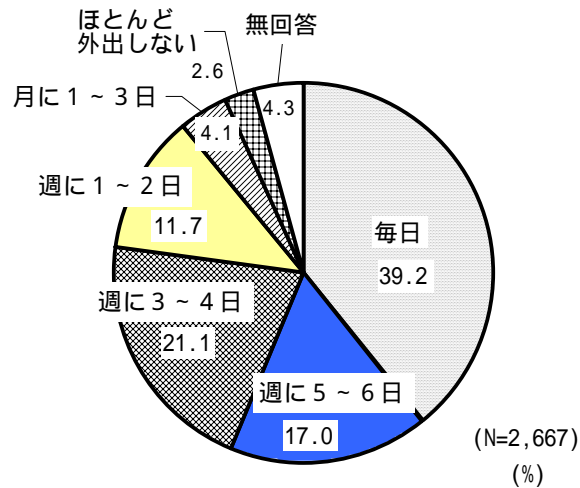


運動やスポーツをする頻度は、「週3～6日」が31.6%と最も多く、次いで「毎日」(31.1%)、「週1～2日」(26.5%)となっている。

(10) 外出の状況

ア 外出の頻度

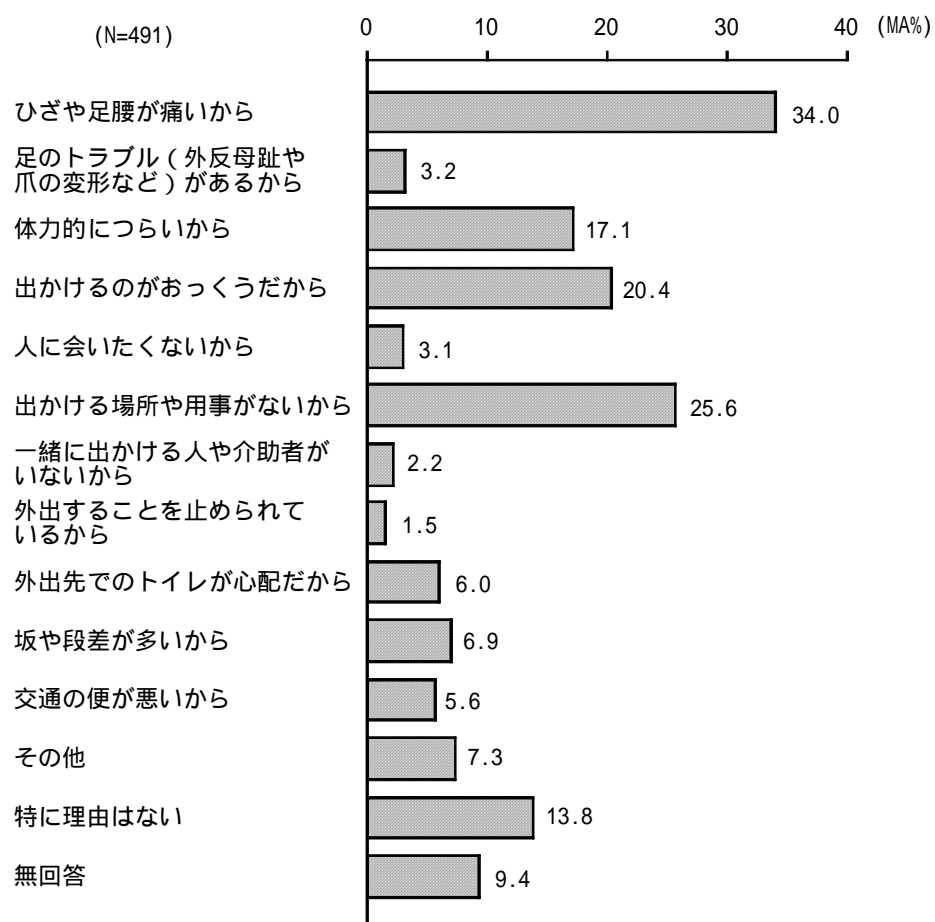
図 1-25 外出の頻度



外出する頻度をみると、「毎日」が39.2%と最も多く、次いで「週に3～4日」(21.1%)、「週に5～6日」(17.0%)、「週に1～2日」(11.7%)の順となっている。

イ 外出を控える理由

図 1-26 外出を控える理由



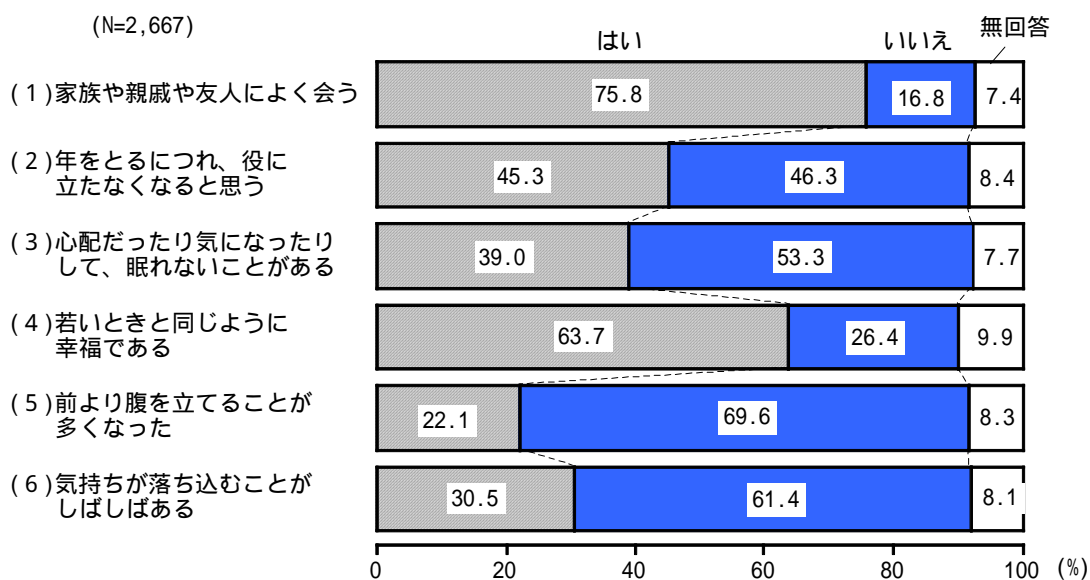
外出頻度が週に1～2日以下の人に外出を控える理由をたずねたところ、「ひざや足腰が痛いから」が34.0%と最も多く、次いで「出かける場所や用事がないから」が25.6%、「出かけるのがおっくうだから」が20.4%、「体力的につらいから」が17.1%の順となっている。

3 介護予防と介護のあり方について

(1) 主観的幸福感と心身の変化に対する意識

ア 主観的幸福感（モラル・スケール）

図 1-27 主観的幸福感（モラル・スケール）

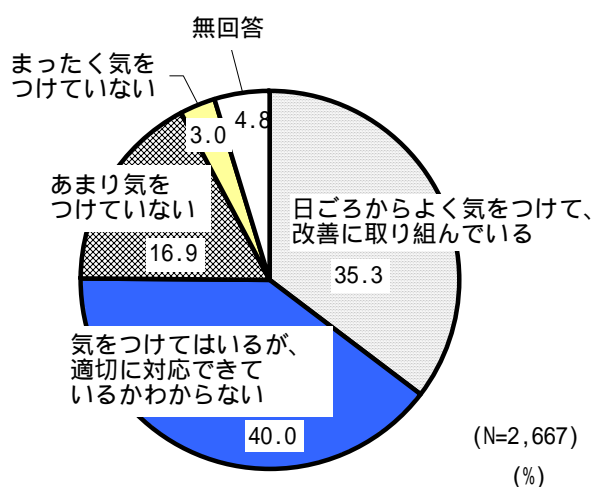


『(1) 家族や親戚や友人によく会う』『(4) 若いときと同じように幸福である』と回答した人は、順に 75.8%、63.7%と多くなっている。

『(3) 心配だったり気になったりして、眠れないことがある』『(5) 前より腹を立てることが多くなった』『(6) 気持ちが落ち込むことがしばしばある』の各項目では「いいえ」が過半数を占め、『(2) 年をとるにつれ、役に立たなくなると思う』についても「いいえ」が 46.3%と多くなっている。

イ 心身の変化に対する意識

図 1-28 心身の変化への対応・改善の有無



心身の変化に対して日ごろから配慮している人は全体の約 75%を占め、「改善に取り組んでいる」人は 35.3%となっている。

表 1-20 性・年齢別 心身の変化への対応・改善の有無

	調査数 (N)	心身の変化への対応・改善の有無 (%)				
		日ごろから改善に取り組んでいる	気をつけてはいるが、適切に対応できているかわからない	あまり気をつけていない	まったく気をつけていない	無回答
男性 (全体)	1202	32.4	39.5	21.0	3.3	3.8
65～69歳	438	31.9	37.5	23.7	5.2	1.7
70～74歳	357	31.9	38.5	22.2	1.5	5.9
75～79歳	241	31.1	43.9	18.0	2.5	4.5
80～84歳	106	36.3	41.4	15.8	3.3	3.3
85歳以上	59	36.8	38.9	14.1	4.9	5.4
女性 (全体)	1434	37.4	40.6	13.7	2.7	5.6
65～69歳	491	36.2	39.2	15.4	3.5	5.8
70～74歳	393	37.7	43.8	12.8	1.0	4.7
75～79歳	287	39.7	39.3	13.1	2.8	5.2
80～84歳	167	39.8	40.7	11.2	2.7	5.6
85歳以上	95	32.0	39.0	15.0	5.0	9.0
無回答	31	50.1	33.5	4.3	3.2	8.9
合計	2667	35.3	40.0	16.9	3.0	4.8

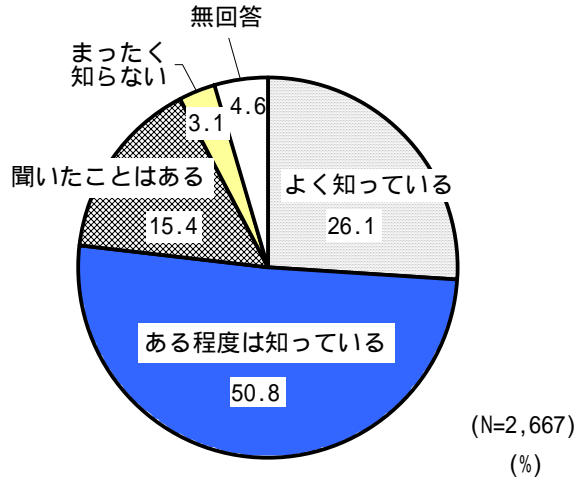
男性全体と女性全体を比べると、「日ごろからよく気をつけて、改善に取り組んでいる」人の割合は、男性 32.4%に対し、女性 37.4%と、女性の方が高くなっている。

性・年齢別にみると、「あまり気をつけていない」人の割合は、男性の前期高齢者で 20%強と高くなっている。

(2) 介護予防に関する知識と取り組み

ア 老化予防・介護予防に関する理解

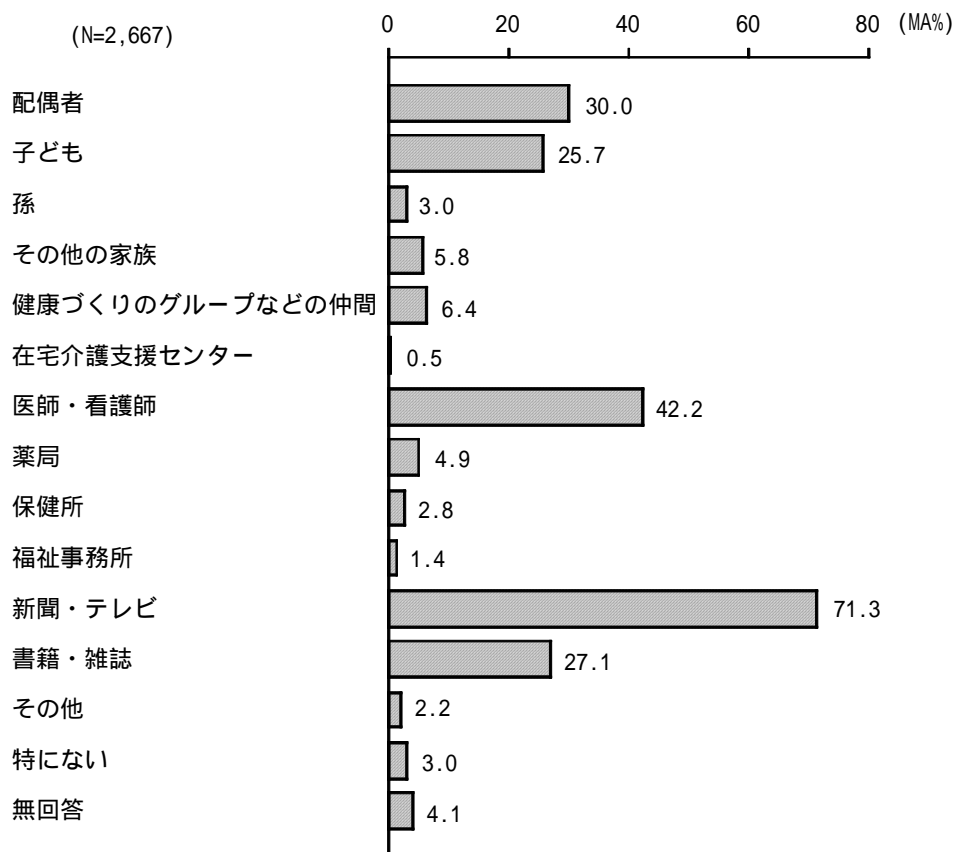
図 1-29 老化予防・介護予防に関する理解



介護予防や老化予防について「知っている」と答えた人は、「よく知っている」と「ある程度知っている」を合わせて76.9%となっている。

イ 病気・老化の予防や健康づくりに関する情報源

図 1-30 病気・老化の予防や健康づくりに関する情報源

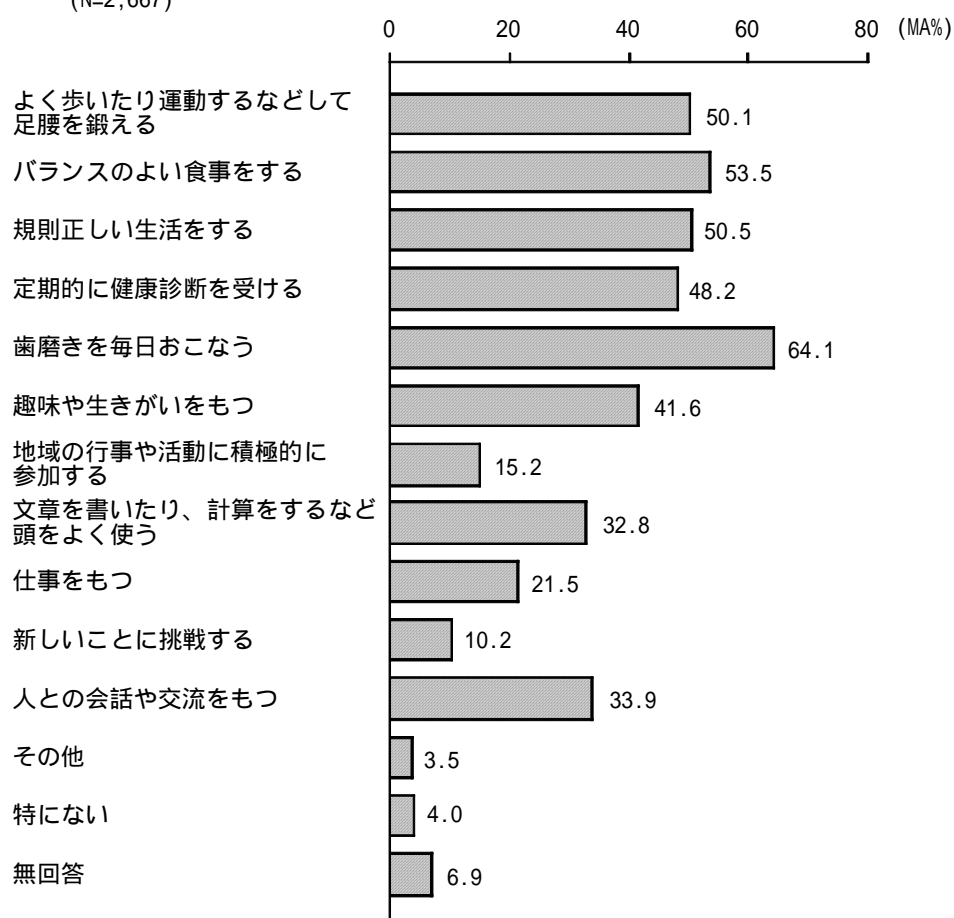


病気・老化予防や健康づくりに関する情報源としては、「新聞・テレビ」が71.3%と最も多く、次いで「医師・看護師」(42.2%)、「配偶者」(30.0%)、「書籍・雑誌」(27.1%)、「子ども」(25.7%)の順となっている。

ウ 病気・老化の予防のために取り組んでいること

図 1-31 病気・老化の予防のために取り組んでいること

(N=2,667)



病気・老化予防のために取り組んでいることとしては、「歯磨きを毎日おこなう」が64.1%と最も多く、次いで「バランスのよい食事をする」(53.5%)、「規則正しい生活をする」(50.5%)、「よく歩いたり運動するなどして足腰を鍛える」(50.1%)、「定期的に健康診断を受ける」(48.2%)などとなっている。

表 1-21 性・年齢別 病気・老化の予防のために取り組んでいること

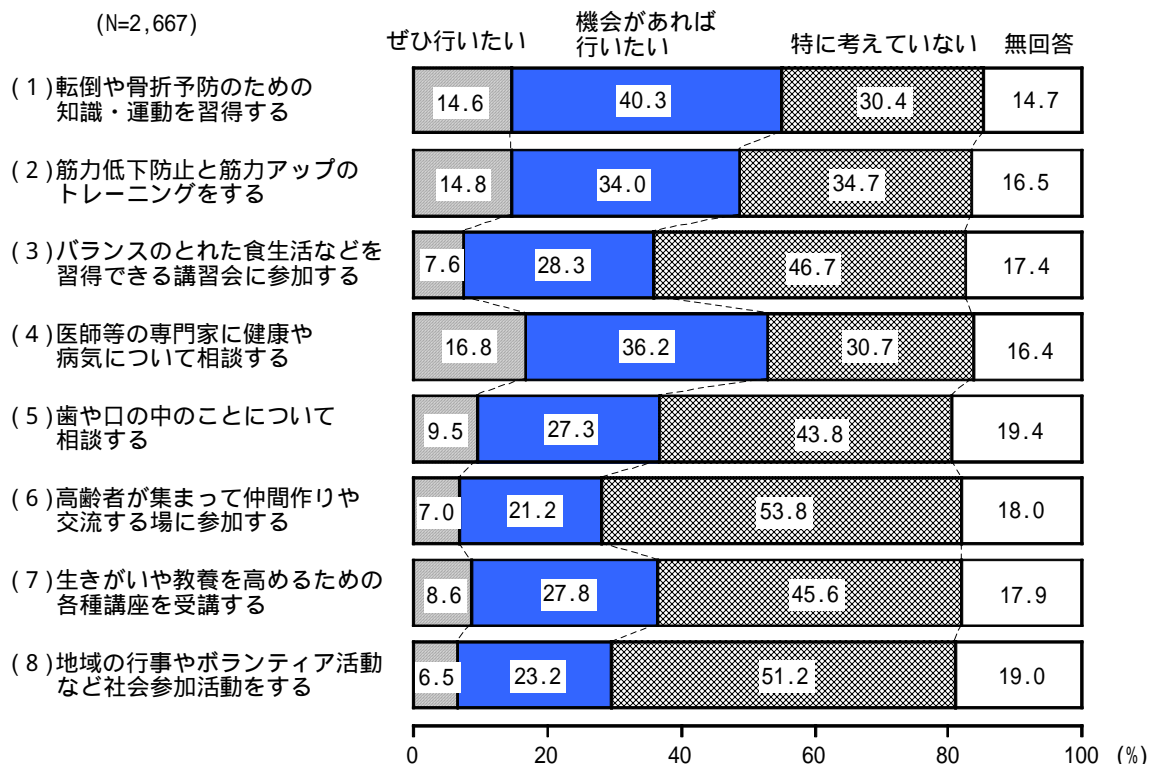
	調査数 (N)	よく歩いたり運動するなどして足腰を鍛える	バランスのよい食事を	規則正しい生活をする	定期的に健康診断を受ける	歯磨きを毎日おこなう	趣味や生きがいをもつ	地域の行事や活動に積極的に参加する	文章を書いたり、計算をするなど頭をよく使う	仕事をもつ	新しいことに挑戦する	人との会話や交流をもつ	その他	特にな	無回答
男性(全体)	1202	53.6	49.7	49.4	47.0	60.7	41.7	15.9	31.5	27.9	11.5	26.3	2.7	4.6	6.3
65～69歳	438	52.2	51.7	50.4	42.2	59.5	41.8	16.4	27.2	35.3	11.2	25.4	1.3	6.0	4.3
70～74歳	357	57.8	53.7	49.3	49.3	62.6	45.9	17.0	34.4	28.5	14.4	27.0	4.1	4.1	6.7
75～79歳	241	52.9	43.4	48.0	52.9	61.1	40.2	16.4	34.4	20.5	10.7	29.1	2.5	2.5	7.8
80～84歳	106	52.6	42.3	51.2	47.0	61.4	38.1	12.1	34.0	20.5	8.4	24.2	3.3	4.7	7.0
85歳以上	59	44.9	49.2	44.9	45.4	56.2	28.1	9.7	28.6	11.9	4.9	21.6	4.9	4.9	10.8
女性(全体)	1434	47.3	57.0	51.5	49.2	67.1	41.5	14.6	33.9	16.1	8.9	40.3	4.0	3.4	7.3
65～69歳	491	54.2	63.1	53.8	51.5	72.3	46.9	15.8	36.2	23.8	12.3	47.3	2.7	2.3	5.8
70～74歳	393	49.5	55.6	50.5	52.2	68.7	43.8	15.5	35.7	14.5	8.4	39.1	4.4	1.3	8.1
75～79歳	287	39.7	56.2	52.4	51.0	64.8	39.7	15.9	32.4	12.8	8.3	38.6	6.2	3.8	7.6
80～84歳	167	43.4	51.9	47.8	40.4	64.0	33.3	9.7	32.4	9.7	4.7	33.6	3.5	5.9	8.0
85歳以上	95	32.3	43.0	47.3	34.3	46.0	24.3	9.7	21.7	4.7	2.7	26.0	4.0	11.7	10.7
無回答	31	42.1	39.8	47.3	44.2	56.3	45.2	16.0	31.4	21.3	16.0	29.9	5.3	8.5	14.9
合計	2667	50.1	53.5	50.5	48.2	64.1	41.6	15.2	32.8	21.5	10.2	33.9	3.5	4.0	6.9

男性全体と女性全体を比べると、「よく歩いたり運動するなどして足腰を鍛える」「仕事をもつ」などの割合は男性の方が女性よりも高く、「バランスのよい食事を」「歯磨きを毎日おこなう」「人との会話や交流をもつ」などの項目については、女性の方が男性よりも高くなっている。

性・年齢別にみると、取り組みを行っている割合は、男女とも前期高齢者で総じて高く、特に女性の前期高齢者では「歯磨きを毎日おこなう」が70%前後と高い。

エ 病気・老化の予防や健康づくりのために行いたいこと

図 1-32 病気・老化の予防や健康づくりのために行いたいこと



病気・老化予防や健康づくりのために今後行いたいこと(「ぜひ行いたい」に「機会があれば行いたい」を加えた割合)としては、『(1) 転倒や骨折予防のための知識・運動を習得する』が 54.9%と最も多く、次いで『(4) 医師等の専門家に健康や病気について相談する』(53.0%)、『(2) 筋力低下防止と筋力アップのトレーニングをする』(48.8%)となっている。

表 1-22 性・年齢別 病気・老化の予防や健康づくりのために行いたいこと

(1) 転倒や骨折予防のための知識・運動を習得する

(2) 筋力低下防止と筋力アップのトレーニングをする

(3) バランスのとれた食生活などを習得できる講習会に参加する

	調査数(N)	%				%				%			
		ぜひ行いたい	機会があれば行いたい	特に考えていない	無回答	ぜひ行いたい	機会があれば行いたい	特に考えていない	無回答	ぜひ行いたい	機会があれば行いたい	特に考えていない	無回答
男性(全体)	1202	12.4	38.5	35.8	13.2	15.2	34.2	37.2	13.4	6.6	24.6	54.3	14.5
65~69歳	438	10.8	40.9	38.4	9.9	16.4	36.2	38.4	9.1	8.6	24.6	55.6	11.2
70~74歳	357	10.4	40.0	36.7	13.0	15.9	35.6	36.3	12.2	7.4	24.4	55.9	12.2
75~79歳	241	14.3	40.2	29.9	15.6	11.9	33.6	37.7	16.8	3.3	28.3	51.2	17.2
80~84歳	106	19.5	28.8	35.8	15.8	15.3	27.9	38.1	18.6	4.7	20.9	52.1	22.3
85歳以上	59	16.8	22.7	36.2	24.3	15.1	25.4	30.8	28.6	4.3	17.3	50.3	28.1
女性(全体)	1434	16.4	41.5	26.1	16.0	14.5	33.8	32.7	19.0	8.5	31.2	40.5	19.7
65~69歳	491	16.5	50.0	23.8	9.6	19.6	40.8	27.7	11.9	8.8	40.0	39.2	11.9
70~74歳	393	19.9	38.7	23.2	18.2	14.1	37.0	30.3	18.5	9.1	33.7	36.4	20.9
75~79歳	287	15.9	37.9	25.5	20.7	11.7	30.0	33.8	24.5	10.3	25.9	39.3	24.5
80~84歳	167	11.5	36.6	33.0	18.9	8.8	21.5	42.2	27.4	4.7	19.5	48.7	27.1
85歳以上	95	12.0	28.3	39.3	20.3	8.0	18.0	48.3	25.7	5.7	13.0	53.3	28.0
無回答	31	13.8	49.6	18.0	18.6	11.2	32.0	33.0	23.9	4.3	33.0	38.8	23.9
合計	2667	14.6	40.3	30.4	14.7	14.8	34.0	34.7	16.5	7.6	28.3	46.7	17.4

(4) 医師等の専門家に健康や病気について相談する

	調査数(N)	ぜひ行いたい	機会があれば行いたい	特に考えていない	無回答
男性(全体)	1202	18.2	35.6	31.9	14.3
65~69歳	438	11.6	38.8	37.9	11.6
70~74歳	357	18.9	36.7	30.0	14.4
75~79歳	241	25.0	32.8	26.6	15.6
80~84歳	106	23.3	31.6	27.4	17.7
85歳以上	59	25.4	24.3	28.6	21.6
女性(全体)	1434	15.4	36.7	29.8	18.1
65~69歳	491	10.0	44.2	34.6	11.2
70~74歳	393	18.2	33.7	27.9	20.2
75~79歳	287	19.0	33.4	24.8	22.8
80~84歳	167	18.0	32.7	26.3	23.0
85歳以上	95	16.0	27.7	34.3	22.0
無回答	31	25.5	30.4	21.2	22.8
合計	2667	16.8	36.2	30.7	16.4

(5) 歯や口の中のことについて相談する

	ぜひ行いたい	機会があれば行いたい	特に考えていない	無回答
男性(全体)	9.2	26.7	47.9	16.2
65~69歳	6.0	30.6	50.0	13.4
70~74歳	10.4	28.5	46.7	14.4
75~79歳	12.7	23.0	46.7	17.6
80~84歳	10.2	18.6	48.4	22.8
85歳以上	9.7	16.2	43.2	30.8
女性(全体)	9.5	27.8	40.7	22.0
65~69歳	10.0	33.8	42.7	13.5
70~74歳	9.1	30.0	37.4	23.6
75~79歳	11.7	23.4	37.6	27.2
80~84歳	6.8	19.2	43.4	30.7
85歳以上	7.0	15.7	49.3	28.0
無回答	17.6	28.3	28.7	25.5
合計	9.5	27.3	43.8	19.4

(6) 高齢者が集まって仲間作りや交流する場に参加する

	ぜひ行いたい	機会があれば行いたい	特に考えていない	無回答
男性(全体)	6.2	22.6	56.6	14.7
65~69歳	5.6	21.1	60.3	12.9
70~74歳	5.2	25.6	56.3	13.0
75~79歳	8.2	24.6	52.5	14.8
80~84歳	5.1	16.7	57.2	20.9
85歳以上	9.7	17.8	45.4	27.0
女性(全体)	7.6	20.0	51.9	20.5
65~69歳	8.5	19.6	58.8	13.1
70~74歳	7.1	20.2	49.8	22.9
75~79歳	6.2	22.8	46.6	24.5
80~84歳	9.4	18.3	45.4	26.8
85歳以上	6.7	16.3	51.7	25.3
無回答	13.3	17.1	37.2	32.4
合計	7.0	21.2	53.8	18.0

(7) 生きがいや教養を高めるための各種講座を受講する

	調査数(N)	ぜひ行いたい	機会があれば行いたい	特に考えていない	無回答
男性(全体)	1202	7.8	27.5	49.9	14.8
65~69歳	438	8.2	27.6	53.0	11.2
70~74歳	357	5.9	31.1	49.6	13.3
75~79歳	241	9.8	27.9	45.1	17.2
80~84歳	106	8.8	19.5	50.7	20.9
85歳以上	59	5.9	17.3	47.0	29.7
女性(全体)	1434	9.4	28.1	42.3	20.3
65~69歳	491	14.2	32.7	41.5	11.5
70~74歳	393	9.1	31.3	37.4	22.2
75~79歳	287	5.5	25.9	42.4	26.2
80~84歳	167	4.7	19.2	49.0	27.1
85歳以上	95	5.0	13.3	54.0	27.7
無回答	31	9.1	28.8	34.0	28.1
合計	2667	8.6	27.8	45.6	17.9

(8) 地域の行事やボランティア活動など社会参加活動をする

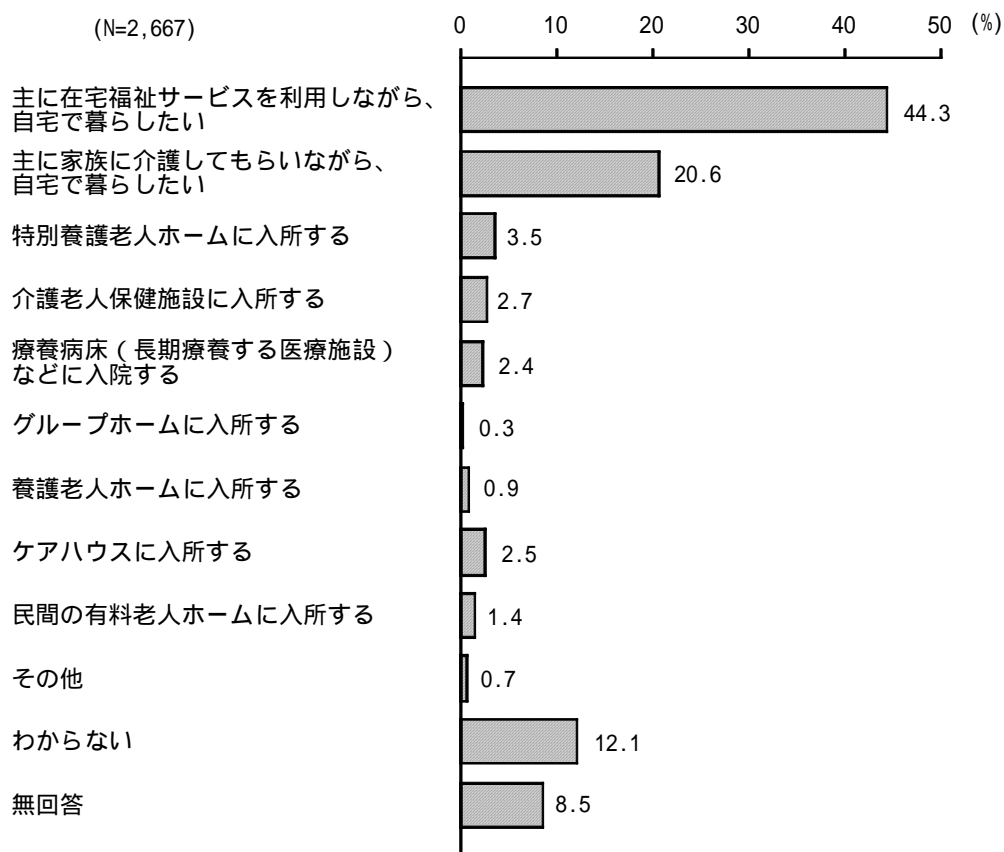
	ぜひ行いたい	機会があれば行いたい	特に考えていない	無回答
男性(全体)	7.6	24.9	52.4	15.0
65~69歳	8.6	27.2	51.3	12.9
70~74歳	7.8	27.0	53.3	11.9
75~79歳	8.6	24.2	50.8	16.4
80~84歳	3.7	17.7	56.7	21.9
85歳以上	2.7	11.9	54.1	31.4
女性(全体)	5.7	21.6	50.6	22.1
65~69歳	8.8	28.8	48.8	13.5
70~74歳	6.4	22.2	47.8	23.6
75~79歳	2.8	18.6	50.0	28.6
80~84歳	2.1	12.7	56.0	29.2
85歳以上	1.7	6.7	63.3	28.3
無回答	-	32.0	35.6	32.4
合計	6.5	23.2	51.2	19.0

「ぜひ行いたい」に「機会があれば行いたい」を加えた割合について、男性全体と女性全体を比べると、『(8)地域の行事やボランティア活動など社会参加活動をする』については男性の方が女性よりも高く、『(1)転倒や骨折予防のための知識・運動を習得する』及び『(3)バランスのとれた食生活などを習得できる講習会に参加する』については女性の方が男性よりも高くなっている。

性・年齢別にみると、『(1)転倒や骨折予防のための知識・運動を習得する』『(2)筋力低下防止と筋力アップのトレーニングをする』については、女性の65~69歳で60%を超えている。また、『(8)地域の行事やボランティア活動など社会参加活動をする』については、男性の70歳代まで、及び女性の65~69歳で30%台となっている。

(3) 介護や援護が必要となった場合に希望する暮らし方

図 1-33 介護や援護が必要となった場合に希望する暮らし方



調査対象者本人に介護が必要となった場合に希望する暮らし方としては、「主に在宅福祉サービスを利用しながら、自宅で暮らしたい」が 44.3%、「主に家族に介護してもらいながら、自宅で暮らしたい」が 20.6%となっており、合計すると全体の 64.9%が自宅での生活を希望している。

表 1-23 家族介護力別 介護や援護が必要となった場合に希望する暮らし方

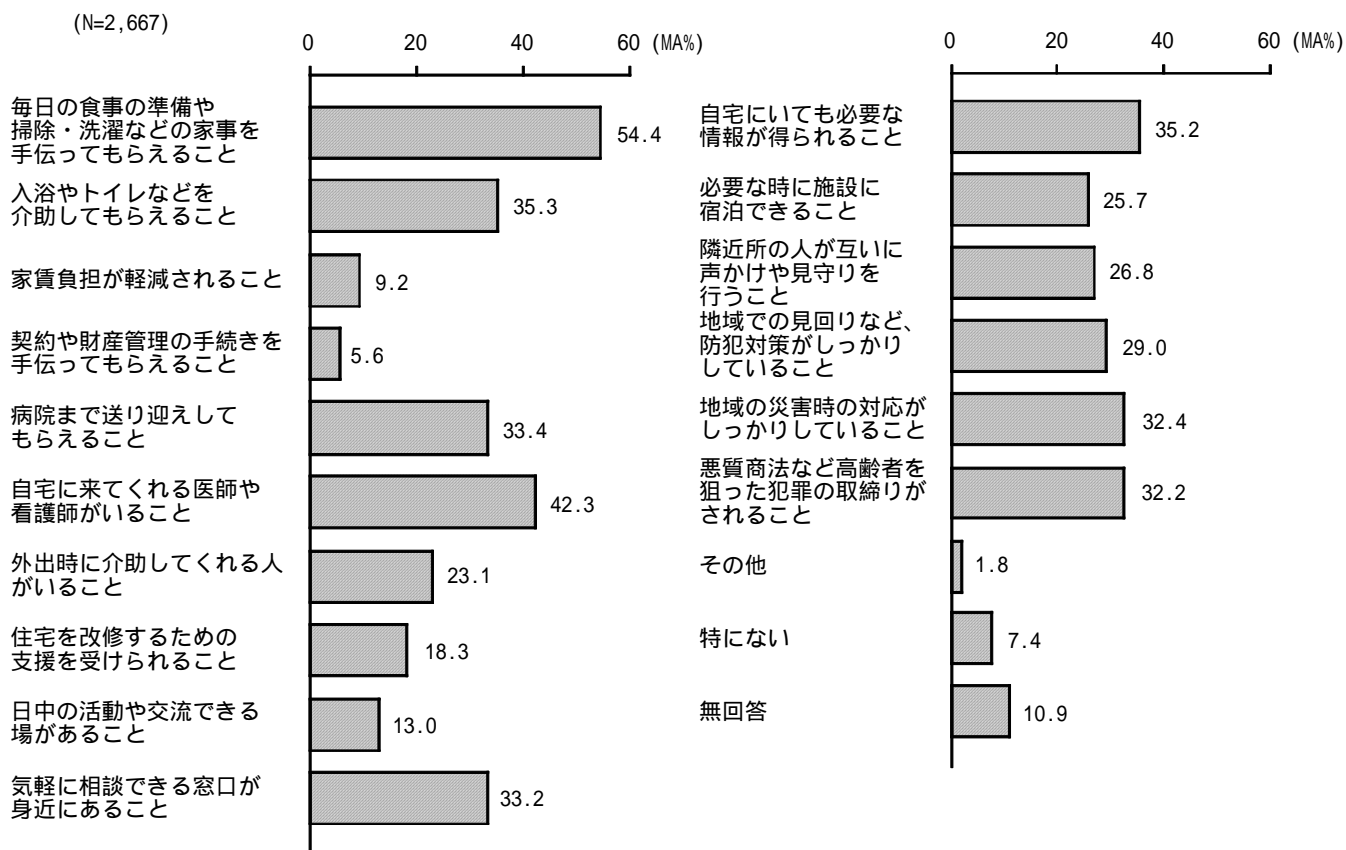
	調査数 (N)	で暮らしたい	主に在宅福祉サービスを利用しながら、自宅で暮らしたい	主に家族に介護してもらいながら、自宅で暮らしたい	特別養護老人ホームに入所する	介護老人保健施設に入所する	療養病床(長期療養する医療施設)などに入院する	グループホームに入所する	養護老人ホームに入所する	ケアハウスに入所する	民間の有料老人ホームに入所する (%)
ひとり暮らし	404	42.6	8.7	5.9	4.0	3.9	0.7	1.0	5.0	1.8	
夫婦のみの世帯	1149	48.8	20.5	4.0	2.7	2.0	0.4	0.8	1.7	1.8	
本人と兄弟姉妹/本人と親	89	49.7	11.4	3.7	2.0	5.7	-	-	2.7	3.2	
子ども・孫と同居だが、昼間ひとりきりになることがある	508	40.4	24.0	1.9	3.1	2.8	0.2	1.0	3.8	0.4	
子ども・孫と同居で、昼間ひとりきりになることはない	341	37.5	30.5	2.1	1.9	1.5	-	0.6	1.1	0.8	
無回答	176	40.8	24.3	2.5	0.6	0.8	-	1.9	1.1	1.3	
合計	2667	44.3	20.6	3.5	2.7	2.4	0.3	0.9	2.5	1.4	

	調査数 (N)	その他	わからない	無回答
ひとり暮らし	404	2.2	14.3	9.9
夫婦のみの世帯	1149	0.3	10.7	6.3
本人と兄弟姉妹/本人と親	89	-	6.8	14.7
子ども・孫と同居だが、昼間ひとりきりになることがある	508	0.4	12.6	9.5
子ども・孫と同居で、昼間ひとりきりになることはない	341	0.9	15.8	7.2
無回答	176	0.4	11.0	15.4
合計	2667	0.7	12.1	8.5

家族介護力別にみると、夫婦のみの世帯、及び本人と兄弟世帯/本人と親の世帯では、「主に在宅福祉サービスを利用しながら、自宅で暮らしたい」が50%近くとなっている。一方、子ども・孫と同居で、昼間ひとりきりになることはない世帯では、「主に在宅福祉サービスを利用しながら、自宅で暮らしたい」(37.5%)が他の世帯と比べて低く、「主に家族に介護してもらいながら、自宅で暮らしたい」が30.5%となっている。また、ひとり暮らし世帯では、特別養護老人ホームやケアハウスなどを希望する人が他の世帯と比べて多くみられる。

(4) 在宅生活を続けていく上で必要な支援

図 1-34 在宅生活を続けていく上で必要な支援



在宅生活を続けていく上で必要な支援としては、「毎日の食事の準備や掃除・洗濯などの家事を手伝ってもらえること」が54.4%と最も多く、次いで「自宅に来てくれる医師や看護師がいること」(42.3%)、「入浴やトイレなどを介助してもらえること」(35.3%)、「自宅にいても必要な情報が得られること」(35.2%)、「病院まで送り迎えしてもらえること」(33.4%)、「気軽に相談できる窓口が身近にあること」(33.2%)などとなっている。

表 1-24 家族介護力別 在宅生活を続けていく上で必要な支援

	調査数 (N)	手除 て も ら え る こ と	毎 日 の 食 事 の 準 備 や 掃 除	入 浴 や ト イ レ な ど を 介 助 し て も ら え る こ と	家 賃 負 担 が 軽 減 さ れ る こ と	契 約 や 財 産 管 理 の 手 続 を 手 伝 っ て も ら え る こ と	病 院 ま で 送 り 迎 え し て も ら え る こ と	自 宅 に 来 て く れ る 医 師 や 看 護 師 が い る こ と	外 出 時 に 介 助 し て く れ る こ と	住 宅 を 改 修 す る た め の 支 援 を 受 け ら れ る こ と	日 中 の 活 動 や 交 流 で き る 場 が あ る こ と
ひとり暮らし	404	49.5	28.2	14.4	6.1	28.4	32.6	22.2	13.6	11.2	
夫婦のみの世帯	1149	59.9	39.5	10.2	6.1	35.5	47.6	25.1	19.6	13.3	
本人と兄弟姉妹 / 本人と親	89	43.8	30.6	8.0	11.2	37.9	50.2	20.8	22.3	11.0	
子ども・孫と同居だが、昼間ひとりきりになることがある	508	53.8	36.7	6.2	4.2	34.1	40.9	24.7	20.8	15.0	
子ども・孫と同居で、昼間ひとりきりになることはない	341	48.9	34.0	4.2	4.4	33.6	41.5	19.1	17.3	11.6	
無回答	176	47.5	25.8	9.4	4.9	26.9	32.4	16.3	12.8	12.2	
合計	2667	54.4	35.3	9.2	5.6	33.4	42.3	23.1	18.3	13.0	

	調査数 (N)	が 気 身 近 に 相 談 で き る 窓 口	報 自 宅 に 得 ら れ て も 必 要 な 情 報	で 必 要 な 時 に 施 設 に 宿 泊	と か 隣 近 の 人 が 互 い に 声	防 地 域 で の 見 回 り な ど	し 地 域 の 災 害 時 の 対 応 が	さ 狙 質 た 犯 法 な ど 高 齢 者 が	悪 質 な 取 締 り が	そ の 他	特 に な い	無 回 答
ひとり暮らし	404	34.3	32.5	26.2	26.4	26.5	31.3	29.0	2.0	8.0	12.6	
夫婦のみの世帯	1149	35.0	39.7	27.4	29.9	33.1	36.0	35.8	1.8	6.6	8.2	
本人と兄弟姉妹 / 本人と親	89	41.7	35.5	17.6	26.7	30.1	35.5	30.7	2.1	7.6	18.0	
子ども・孫と同居だが、昼間ひとりきりになることがある	508	32.4	36.5	28.4	29.6	29.3	33.0	33.9	1.4	6.5	11.9	
子ども・孫と同居で、昼間ひとりきりになることはない	341	28.4	26.4	21.9	19.0	21.3	25.2	28.8	2.7	10.8	9.9	
無回答	176	25.4	25.1	17.7	15.0	21.0	21.6	17.9	0.4	8.0	20.4	
合計	2667	33.2	35.2	25.7	26.8	29.0	32.4	32.2	1.8	7.4	10.9	

家族介護力別にみると、夫婦のみの世帯では、「毎日の食事の準備や掃除・洗濯などの家事を手伝ってもらえること」(59.9%)、「自宅にいても必要な情報が得られること」(39.7%)、「入浴やトイレなどを介助してもらえること」(39.5%)などの項目について、他の世帯と比べて割合が高くなっている。

表 1-25 介護や支援が必要となった場合に希望する暮らし方別
在宅生活を続けていく上で必要な支援

	調査数 (N)	手除毎 伝・洗の つて濯食 もらな事 えのの る家掃 こと事	助入 浴して やトイレ もらえ るなど を介	こ家 と賃負 担が 軽減 され る	こ契 と約 や財 産管 理の 手続 を 手伝 つて もら える	も病 院ま で送 り迎 えし て	や自 宅に 来て くれ る医 師	る外 人が 時に 介助 して くれ	支住 援宅 をを 改修 する ため の	る日 場中 の活 動や 交流 でき
主に在宅福祉サービスを利用しながら、自宅で暮らしたい	1183	69.2	43.1	7.9	5.9	40.3	54.4	29.9	25.2	15.6
主に家族に介護してもらいながら、自宅で暮らしたい	549	56.3	37.9	9.0	5.2	33.2	40.9	19.2	16.3	10.4
特別養護老人ホームに入所する	94	63.4	43.6	22.0	10.8	46.1	45.2	28.8	19.0	20.2
介護老人保健施設に入所する	73	39.5	34.1	25.4	1.8	32.8	38.4	24.2	19.3	18.0
療養病床（長期療養する医療施設）などに入院する	65	64.3	41.6	14.7	4.1	47.9	61.4	34.4	15.2	14.9
グループホームに入所する	9	-	21.6	15.1	-	-	15.1	21.6	-	67.1
養護老人ホームに入所する	24	62.1	45.7	21.3	19.9	51.3	37.3	30.0	9.8	12.2
ケアハウスに入所する	67	64.1	52.0	13.3	9.1	40.1	53.5	36.3	18.6	23.1
民間の有料老人ホームに入所する	37	57.5	45.7	9.0	28.4	28.0	47.6	22.7	2.7	8.6
その他	17	30.6	28.8	-	-	37.2	26.0	15.1	7.6	-
わからない	324	30.8	17.5	9.0	4.6	22.4	21.9	13.5	12.2	8.1
無回答	226	4.0	2.4	2.5	0.6	2.9	5.1	0.7	0.6	3.7
合計	2667	54.4	35.3	9.2	5.6	33.4	42.3	23.1	18.3	13.0

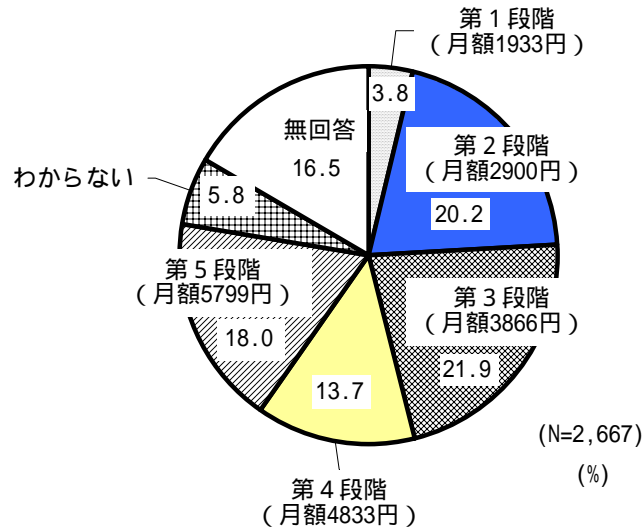
	調査数 (N)	が気 身軽 に相 談で きる 窓口	報自 宅が 得ら れる も必 要な 情	で必 要な 時に 施設 に宿 泊	と隣 近所 の人 が互 いに 声	防地 域で の見 守り など、 防犯 対策 がし つり なり	し地 域の 災害 時の 対応 が	さ狙 つた 犯罪 など 高齡 者を 	悪質 な取 締り が	そ の 他	特 に な い	無 回 答
主に在宅福祉サービスを利用しながら、自宅で暮らしたい	1183	39.6	44.1	29.7	31.9	36.7	40.9	38.3	1.3	3.6	2.8	
主に家族に介護してもらいながら、自宅で暮らしたい	549	25.0	35.9	15.8	28.1	25.0	30.3	32.1	1.0	7.4	4.5	
特別養護老人ホームに入所する	94	46.9	27.3	41.1	34.1	35.2	35.8	40.8	1.6	2.3	4.9	
介護老人保健施設に入所する	73	48.5	28.0	44.4	27.7	22.5	28.2	32.4	0.7	5.0	7.8	
療養病床（長期療養する医療施設）などに入院する	65	51.1	38.2	49.5	28.9	32.8	33.4	34.6	4.6	7.0	3.5	
グループホームに入所する	9	41.6	45.4	63.2	51.9	67.1	15.1	51.9	-	-	21.6	
養護老人ホームに入所する	24	40.8	41.9	41.2	37.4	33.9	33.9	38.1	1.3	1.3	5.6	
ケアハウスに入所する	67	58.4	37.5	53.8	37.7	42.2	44.4	48.4	4.3	0.7	1.5	
民間の有料老人ホームに入所する	37	46.9	41.4	51.3	26.2	26.2	28.6	24.6	1.7	3.5	-	
その他	17	18.1	35.1	10.4	4.7	14.1	29.3	31.1	15.5	12.3	-	
わからない	324	26.2	24.7	19.6	16.3	20.8	22.5	23.3	4.1	29.6	6.7	
無回答	226	3.9	3.3	4.2	4.7	4.4	4.4	3.8	0.6	2.3	85.9	
合計	2667	33.2	35.2	25.7	26.8	29.0	32.4	32.2	1.8	7.4	10.9	

介護や支援が必要となった場合に希望する暮らし方別にみると、主に在宅福祉サービスを利用しながら、自宅で暮らしたい人では、「毎日の食事の準備や掃除・洗濯などの家事を手伝ってもらえること」が70%近くとなっている。一方、介護保険3施設及びケアハウスや民間の有料老人ホームを希望する人では、「気軽に相談できる窓口が身近にあること」「必要な時に施設に宿泊できること」などの割合が相対的に高い。また、特別養護老人ホーム、療養病床、養護老人ホームを希望する人では、「病院まで送り迎えしてもらえること」が高くなっている。

4 介護保険制度について

(1) 第1号被保険者保険料の所得段階別区分

図 1-35 第1号被保険者保険料の所得段階別区分

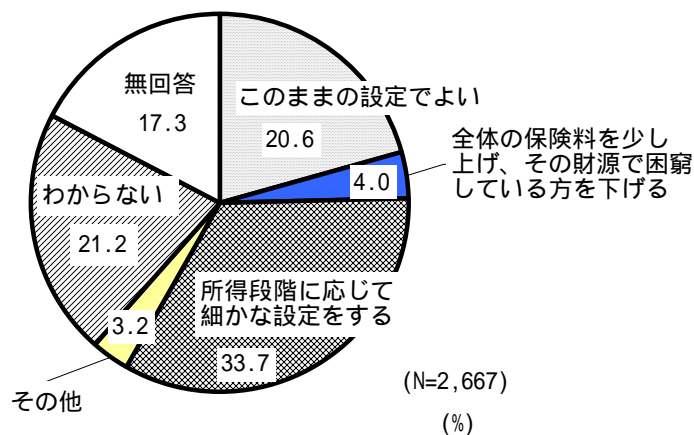


第1号被保険者保険料の所得段階別区分は、「第3段階」が21.9%、「第2段階」が20.2%と多くなっている。

(2) 保険料の設定および給付・負担のあり方についての意向

ア 介護保険料の設定方法について

図 1-36 介護保険料の設定方法について



第1号被保険者の所得段階別保険料の設定方法については、「所得段階に応じて細かな設定をする」が33.7%と多く、「このままの設定でよい」は20.6%、「全体の保険料を少し上げ、その財源で困窮している方を下げる」は4.0%となっている。

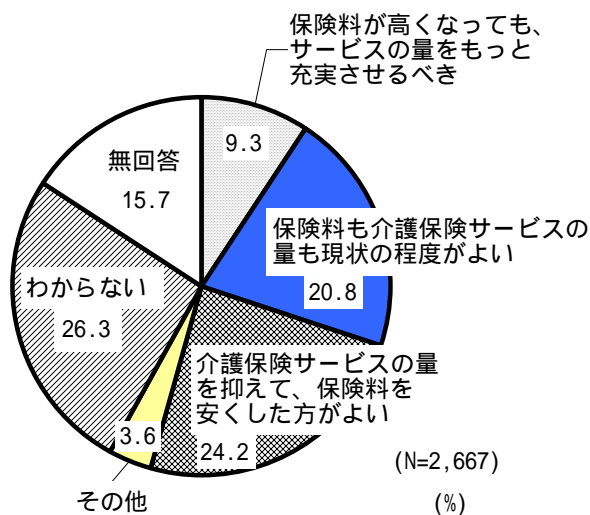
表 1-26 介護保険料の段階別 介護保険料の設定についての考え

	調査数 (N)	このままの設定でよい	てげ全 い、体 るそ 方その を財 下源 げ料 るを 困少 窮し し上	な所 設得 定段 を階 すに る応 細 か	そ 他	わ か ら な い	無 回 答
第1段階(月額1933円)	102	26.0	8.0	24.0	1.5	32.5	8.0
第2段階(月額2900円)	540	22.2	5.3	43.3	1.5	21.0	6.6
第3段階(月額3866円)	584	23.0	3.2	41.0	3.4	23.2	6.2
第4段階(月額4833円)	366	23.2	3.2	45.3	3.8	17.8	6.7
第5段階(月額5799円)	481	28.7	6.0	31.4	6.8	21.1	6.0
わからない	154	14.5	3.5	22.5	3.1	46.6	9.7
無回答	440	5.4	1.2	11.3	1.0	10.3	70.8
調査数	2667	20.6	4.0	33.7	3.2	21.2	17.3

保険料段階別にみると、第2～第4段階の人では「所得段階に応じて細かな設定をする」が40%台を占めている。一方、第1及び第5段階では、「所得段階に応じて細かな設定をする」と「このままの設定でよい」に回答が分かれている。

イ 今後の保険料のあり方について

図 1-37 今後の保険料のあり方について



今後の保険料のあり方としては、「介護保険サービスの量を抑えて、保険料を安くした方がよい」「保険料も介護保険サービスの量も現状の程度がよい」がともに20%強と多く、「保険料が高くなっても、サービスの量をもっと充実させるべき」は9.3%となっている。

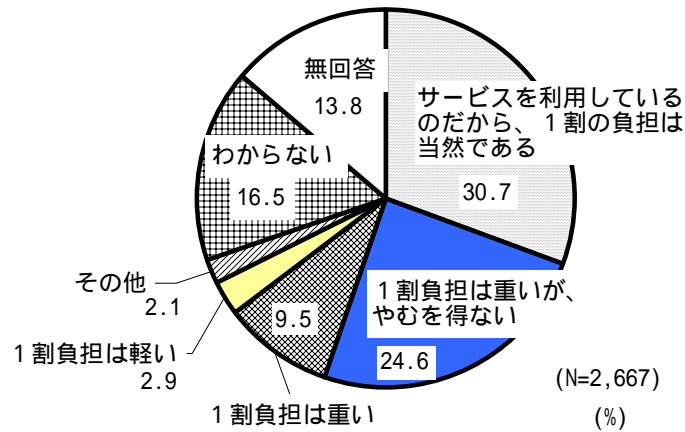
表 1-27 介護保険料の段階別 今後の保険料のあり方についての考え

	調査数 (N)	もも、保険料が充実に高くなるべき	がよ、保険料も現状の程度がよい	くを介、抑えた方がよい	介、護保険サービスの量を安	その他	わからない	無回答
第1段階 (月額1933円)	102	12.9	22.4	12.6	3.2	38.1	10.8	
第2段階 (月額2900円)	540	6.6	23.3	25.7	5.6	32.8	6.0	
第3段階 (月額3866円)	584	7.9	23.8	29.0	3.8	31.5	4.0	
第4段階 (月額4833円)	366	14.2	22.6	30.4	4.1	23.7	5.0	
第5段階 (月額5799円)	481	14.5	26.8	28.2	4.0	21.3	5.2	
わからない	154	9.7	15.4	23.1	1.3	44.1	6.5	
無回答	440	3.8	7.2	9.8	1.0	10.4	67.8	
合計	2667	9.3	20.8	24.2	3.6	26.3	15.7	

保険料段階別にみると、第3～第5段階の人では「介護保険サービスの量を抑えて、保険料を安くした方がよい」が30%前後となっている。また、「保険料も介護保険サービスの量も現状の程度がよい」の割合は第5段階が26.8%と最も高くなっている。

ウ 利用者負担について

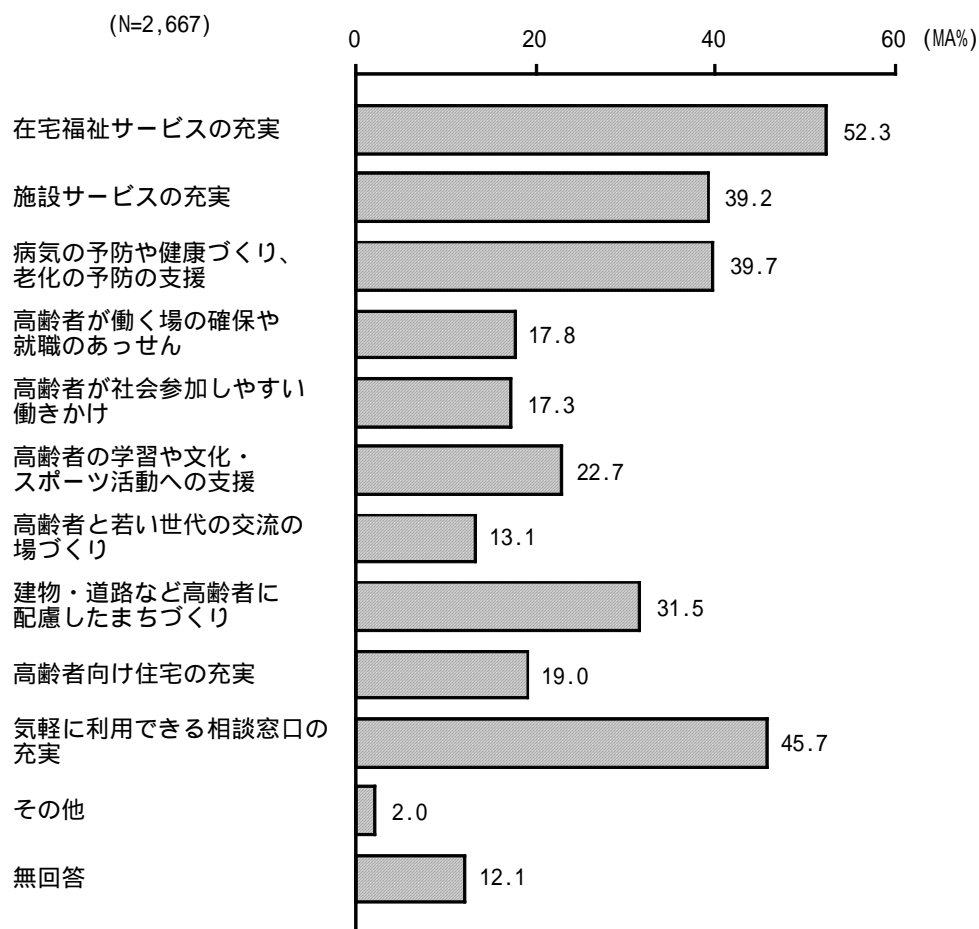
図 1-38 利用者負担について



介護サービス利用料の1割負担については、「サービスを利用しているのだから、1割の負担は当然である」が30.7%と最も多く、「1割負担は重い、やむを得ない」も24.6%と多くなっている。

(3) 高齢者保健福祉施策に対する要望

図 1-39 高齢者保健福祉について充実を希望する施策



高齢者保健福祉について今後充実を望む施策としては、「在宅福祉サービスの充実」が 52.3%と最も多く、次いで「気軽に利用できる相談窓口の充実」(45.7%)、「病気の予防や健康づくり、老化の防止の支援」(39.7%)、「施設サービスの充実」(39.2%)、「建物・道路など高齢者に配慮したまちづくり」(31.5%)の順となっている。

5 自由意見

自由意見欄には、524人（記入率19.6%）から延べ567件の回答があった。回答内容の分類と件数は以下のとおりである。

1 介護保険料の負担	100
介護保険料が低所得者の負担にならないようにしてほしい（5段階区分の見直し、減免等）	38
介護保険料が高い、介護保険料を安くしてほしい	25
介護サービスを利用していない人の介護保険料負担を軽くしてほしい（払い戻し、減免等）	23
介護保険料を負担することは当然である、やむを得ない	3
その他、介護保険料負担に関する意見	11
2 サービス利用料の負担	7
サービス利用料（1割負担）が低所得者の負担にならないようにしてほしい（無料利用、減免等）	4
サービス利用料を上げて、安易な利用を減らすべきである	3
3 介護保険制度全般	82
公正な制度にしてほしい（事業者や利用者間で不正・不平等がないよう調査・監視する等）	30
介護保険に満足している、期待している	9
利用しやすい制度にしてほしい（実態に即した柔軟な対応等）	9
無駄や負担の少ない制度にしてほしい（税を重点的に配分する等）	7
家族介護を重視してほしい（精神面や経済面でのサポート等）	7
介護保険には不満がある、反対、廃止してほしい	4
その他、介護保険制度全般に関する意見	16
4 要介護認定	12
要介護認定は公正に行ってほしい	12
5 介護保険制度に関する情報公開	33
制度の仕組みや利用方法、収支に関する情報提供を充実してほしい	25
サービス内容や事業者に関する情報、評価等を公表してほしい	8
6 ケアマネジャー	2
ケアマネジャーに関する意見（ケアマネジャーを増やしてほしい等）	2
7 在宅サービスの充実	20
在宅サービスに関わる人材の育成・質の向上を図ってほしい（ヘルパー等）	8

デイサービスやショートステイ等，在宅サービスを充実させてほしい	6
ショートステイを希望した時すぐに使えるようにしてほしい	4
その他，在宅サービスの充実に関する意見	2

8 施設サービスの充実	36
介護保険施設を増やしてほしい（特別養護老人ホーム，老人保健施設等）	14
施設の入所待ちの状況を改善してほしい	10
低料金で入所できる施設を整備してほしい	4
その他，施設サービスの充実に関する意見	8

9 高齢者施策全般	111
高齢者の自立支援・健康増進施策に力を入れてほしい	44
外出・移動支援を充実してほしい（移送サービス，タクシー利用時の補助等）	12
気軽に相談を受けられる窓口を整備してほしい	10
高齢者が安心できるまちづくりを進めてほしい（道路や建物の整備等）	8
高齢者の実態把握に力を入れてほしい（独居高齢者への見守り，定期訪問等）	7
高齢者向け住宅施策に力を入れてほしい（公営住宅の整備，住宅改修等）	4
地域福祉の充実を図ってほしい（ボランティア育成等）	3
その他，高齢者施策全般に関する意見	23

10 その他の意見	164
介護保険制度をまだ利用していないのでわからない，これから勉強したい	37
福祉全般の充実を求める意見	21
今はまだ介護が必要ではないが，将来が不安である	14
医療に関する意見	8
アンケートに関する意見	5
市行政に関する意見	3
その他の意見・感想等	76

